

岡山市埋蔵文化財調査の概要

1994（平成6）年度

岡山市教育委員会

はじめに

全国的に開発に伴う発掘調査例が増加し続けています。

もちろん岡山市も例外ではありません。調査員の手の動きが途切れる間もないように見受けられるほどです。当然のこと、発掘された土器等の出土物も増え続け、整理の間に合わない資料が増加してきております。発掘は現地調査が終了しただけでは終わったことにはなりません。調査報告書を刊行し、しかも常時展示公開し、その成果が広く市民に周知されてこそ調査は完了したとされるべきなのです。しかしながら、現状では調査に追われて報告書の作成までに至っていないことが、岡山市の実状であります。

岡山市教育委員会では、本来あるべき状況と現実との間隙を埋めるべく努めています。現地説明会や発掘調査速報展の開催はその一環ですが、まだまだ十分とはいえません。今年は調査の成果を速やかに広報しようと、年度の調査概要をまとめました。当面これで報告書の未刊行の欠を幾ばくかでも補い、その責の一端を果たしたいと思います。

本書が市内における埋蔵文化財保護行政の一助となり、活用されれば幸甚に存じます。

平成8年3月

岡山市教育委員会

教育長 戸村 彰孝

例　　言

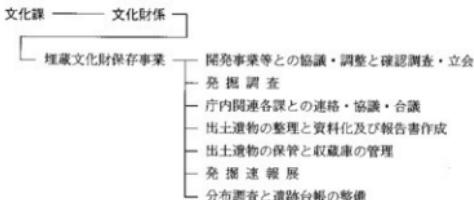
1. 本書は1994（平成6）年度の埋蔵文化財に関する事業と調査成果及び保護行政の概要報告である。
2. 本書の執筆は全体編集が神谷正義の担当、発掘調査の概要は各担当者が分担して執筆した。
3. 本書に関係する実測図・写真・遺物等はすべて岡山市教育委員会で保管している。
4. 本書はあくまで速報性に重点を置いた内容である。したがって、紹介の調査成果は整理途上であり、正式な報告書刊行の時点で訂正される性格のものであることを御了承願いたい。

目　　次

I. 発掘調査の概要	3
II. 埋蔵文化財関連の協議と調整	26
III. 普及・啓発事業と刊行物	29
IV. 受領図書一覧	30

岡山市文化財係の紹介

1. 1994（平成6）年度文化財係の組織図と仕事



2. 担 当 員

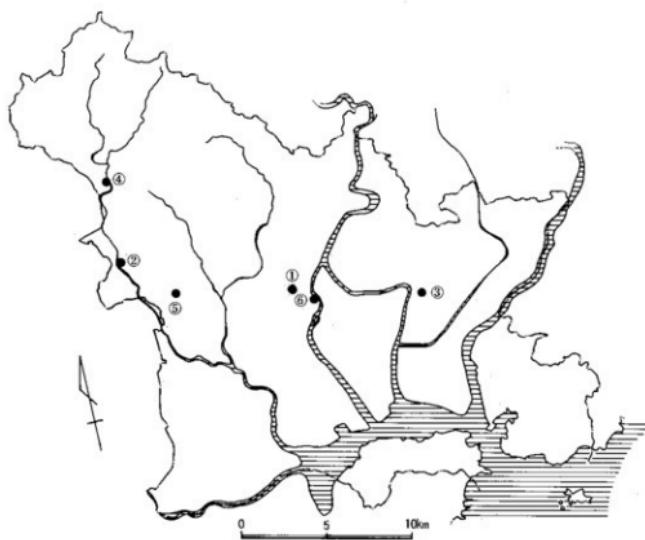
文化課長	富岡 博司	文化財保護主事	栗崎 実	文化財保護主事	崩崎 由
文化財専門監	出宮 徳尚	文化財保護主事	草原 孝典	文化財保護主事	高橋 伸二
課長補佐	根木 稔	文化財保護主事	河田 健司	文化財保護主事	安川 満
主任	神谷 正義				

3. 収 藏 施 設

赤坂収蔵庫
芳田収蔵庫

1. 発掘調査の概要

- ① 上伊福・南方（済生会）遺跡
- ② 三手向原（処分場）遺跡
- ③ 目黒上山遺跡
- ④ 足守陣屋関連（足守小）遺跡
- ⑤ 吉備津田淵後（鯉山小）遺跡
- ⑥ 岡山城跡本丸中の段遺跡



所在地 国体町3-90-1

調査期間 930212~940127

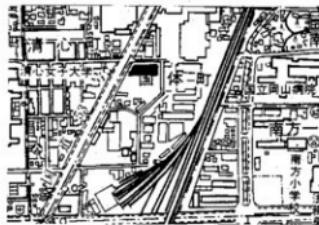
調査原因 病院施設建設

調査面積 約1,820m²

時 代 弥生時代~

担 当 者 扇崎 由・安川 満

遺跡の概要 当調査区は地図上の南方遺跡の北西端付近にあたる。南方遺跡は南方1~2丁目、国体町にまたがる遺跡の総称であり、かつては遺物発見の地点ごとに旧小字名などから蓮田遺跡、宝崎遺跡、日本興油遺跡などとよばれたこともある。これまでに国立岡山病院看護婦寮、同地方循環器病センター、新幹線側道建設に伴い発掘調査が実施され、微高地上に弥生前期から中期中葉を中心とする遺構が濃密に展開することが確認されている。



第1図 調査地点

調査の概要 今回の発掘調査では平安時代末~中世の水田、弥生時代中期を中心とする3本の自然河道とやや低平な微高地（微高地1）を検出している。

平安時代末~中世の水田 上下2面を検出しており、それぞれ明黄灰色~淡灰色砂の洪水砂によって被覆されている。が、洪水砂が薄いこともあり上層水田上面において同時に両者の畦畔を検出することができた。畦畔はほぼ正方位を指向しており、現存条里地割りの方向ともよく一致する。下層の水田は淡灰色微砂・シルトを耕作土とし、水田1面は南北に長い10×17m以上の区画をもつ。上層の水田は暗灰褐色微砂質土を耕作土とし、畦畔は下層水田のものをそのまま継承しつつ、黒褐色土をブロック状に含む淡灰褐色砂質土によって盛られている。水田1面は下層水田のものをさらに2分割し10×10mの区画にしているようである。

河道1 微高地1南側の谷状の低地部を流れる弥生中期中葉の自然河道。幅10m程度の小河道で、流路の変化により低湿地化し、中期中葉の間に南側からの廃棄物とおもわれる有機物層、土壌などにより埋没している。また、埋没過程の土層から木造状の遺構を検出している。これは微高地1の南東角から、河道2西岸に沿って河道1埋没後の低湿地を渡しており、建築材の転用と思われる加工材を杭で固定し、部分的に沈下防止に横木を渡しただけの簡単なものである。時期は出土物、河道1との層位的関係から弥生中期後半と考えられる。

河道2 調査区の北東部を流れる弥生中期後半から末の自然河道。東岸は調査区外のため規模は不明だが、河川性の堆積物と思われる砂主体の層によって埋没している。

河道3 調査区西半部を南流する自然河道。川幅は30m以上で、西岸は調査区外である。調査区の南で河道1と合流すると思われるが、出土遺物に時間差はさほどなく、ほぼ同時に埋没したものと思われる。

微高地1 微高地1は東西両側を河道2、3に削られ狭長なうえに、最も高い調査区北側でも海拔1mほどの低平な微高地末端部であり、遺構も貯蔵穴が数基認められるだけの状況である。この貯蔵穴は微高地1末端部の低湿な条件を利用したものと思われ、4基を検出している。時期は弥生前中期から中期にわたっており、規模はほぼ長径2m前後、短径1.5m程度で深さは40~60cmを測る。下面に樹木の皮をひいており、埋土の下層は細かい木屑状の有機物であった。底部付近には炭化米、魚骨などがわずかに認められた。

出土遺物 出土遺物は河道1の埋土中からのものが最も多く、他の河道、遺構内からも土器を中心にも多くの遺物が出土している。河道1からは土器、石器、木製品、骨角製品のほか動物骨なども多量に出土しており、特に木製品は、耕起具、鎌柄・木製鎌などの収穫具、脱穀具、伐採斧・加工斧の柄、へらなどの工具類、容器類、匙、柄杓から建築材まで質・量ともに豊富なものが存在する。(図5)

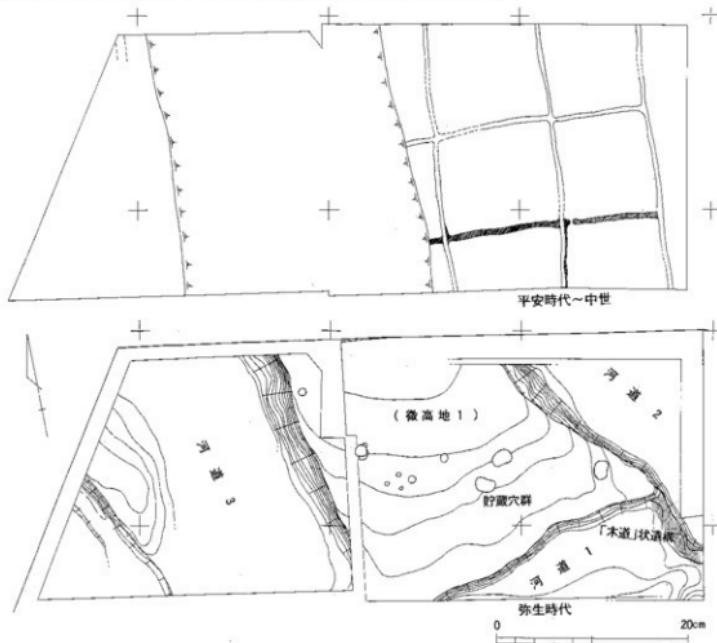
このうち耕起具では、「ナスピ形」曲柄鋤と鍔反柄が伴っており、「ナスピ形」曲柄鋤の出土例では古いものとして注意される。

また、祭祀的なものも豊富であり、三角形、菱形、長方形の透かし彫りと锯齒紋などの紋様を施した木製品や、現状で約91cmを測る大型の戈形木製品などが出土している。

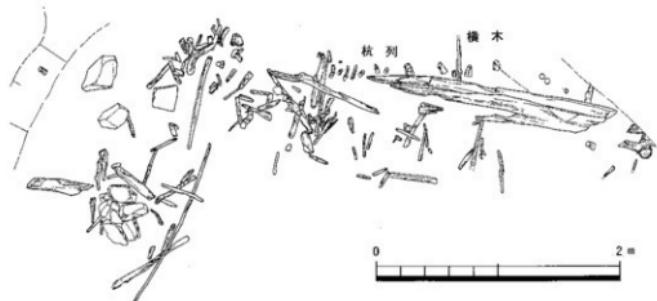
武器・武具類も盾や弓のほか、組合式の木製甲が存在する。これは表面に黒漆を塗った板状のもので、これらが組み合って短甲様の甲になると思われる。

まとめ もとより限られた面積の発掘調査ではあるが、特に遺物的には弥生中期の拠点的集落である南方遺跡にふさわしい内容といえる。ほとんどの遺物が河道や溝状遺構からの出土であり、特に土器編年の一括資料としては良好なものとは言い難い。しかし、木製品がこれだけまとまって出土したのは岡山県下では初めてのことであり、今後近畿地域と北九州地域を結ぶ地理的な位置からも、木製品の地域性や編年的研究において重要な位置を占めてくることが予想される。

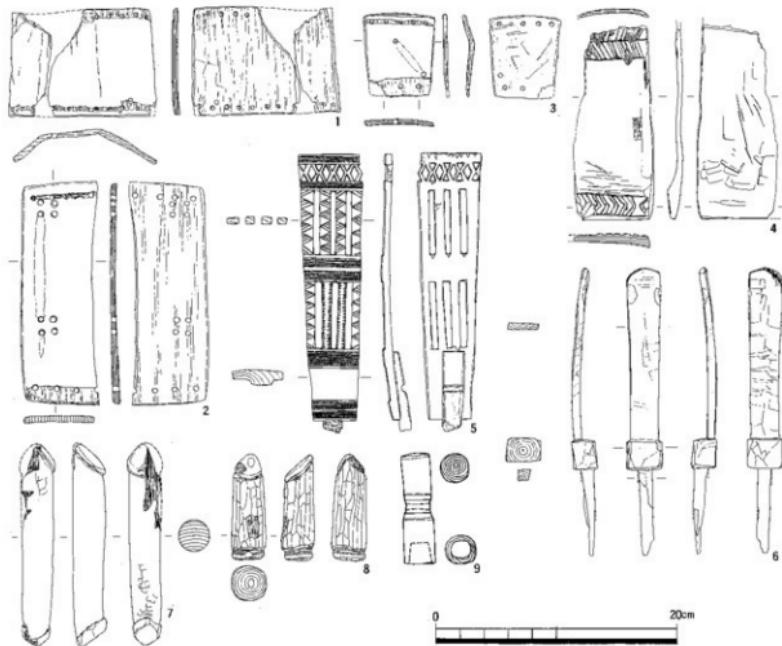
また、小河道が予想以上に複雑に入り組み、頻繁に流路を変えている様子が明らかとなり、こうした地形的制約のなかでの集落の在り方、小微高地ごとのつながり、一集落の領域と周辺集落との関係など、今後岡山平野の発達史も含めて検討していく必要があると考えている。



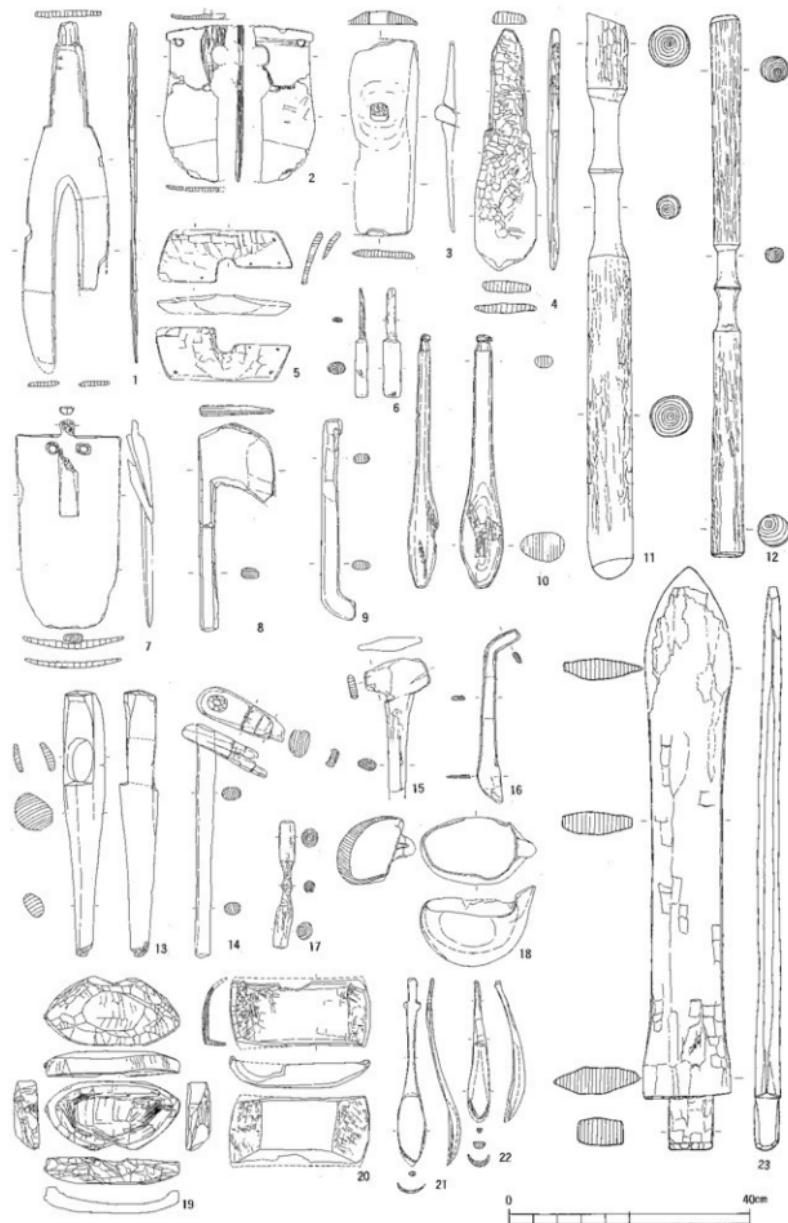
第2図 遺構平面図



第3図 「木道」状遺構



第4図 出土木製品実測図 (1) (S=1/4)



第5図 出土木製品実測図(2) (S=1/8)

上伊福・南方（済生会）遺跡（南方蓮田調査区）II

所在地 国体町3-90-1

調査期間 940606～950330

調査原因 病院施設建設

調査面積 約880m²

時代 弥生時代～

担当者 扇崎 由・安川 満

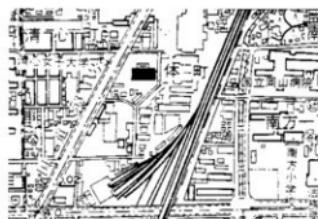
遺跡の概要 当調査区は前年度調査区の南隣であり、南方遺跡の北西端付近にある。前年度調査では弥生時代中期の埋没河道等を検出しており、当調査区はその埋没河道の続き、及びその南岸にあたる微高地部分と予測された。

調査の概要 当調査地点はおおよそ南側1/3程度を微高地がしめ、北側は前年度調査区に続く低地となっている。遺構としては平安時代～中世の水田及び溝、古墳時代初頭の水田、弥生時代前期中葉～後期後半にわたる遺構群及び河道を検出している。

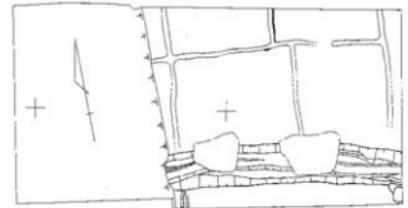
平安時代～中世の水田及び溝 この水田は前年度検出水田の続きであり、やはり上下2面の水田を同時に検出している。しかし微高地側ほど被覆している洪沢砂が薄くなっている、微高地側ほど畦畔が不明瞭となっている。また水田部と微高地の境界付近には、東西方向に幅約4m、深さ0.8mの溝（SD103）が存在する。SD103の南、微高地上には棚状の小柱穴列、建物の一部と思われる柱穴数基が存在するが、その性格等は不明である。

古墳時代初頭の水田 前年度調査区では検出し得なかったが、平安時代～中世の水田の下層約50cmにて検出した。明灰白色シルト質のごく薄い洪沢砂に被覆されており、洪沢砂のやや厚い北西部では比較的良好に検出できたが、特に微高地側は洪沢砂がほとんど存在しないこと、耕作土対応層に多量の土器片を含むことから不明瞭となっている。検出できた畦畔が一部であるため区画は復元し難いが斜面に平行な方向性をもった区画であると思われる。

弥生時代の遺構群 調査区南東部の微高地（微高地2）からその北側の河道、低湿地にかかる部分で、



第1図 調査地点



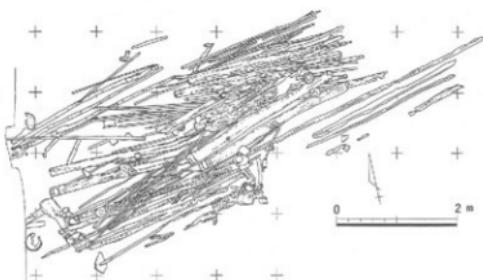
第2図 遺構平面図

河道は前年度調査区の河道1、河道3にあたる。調査区の北西部は河道1、河道3が合流あるいは重複する部分であるが、その埋土に明瞭な切り合いは認められなかった。河道は幅10～15mの小河道で、中期中葉の間に微高地2側からの廃棄物とおもわれる有機物層、流土などにより埋没している。また、埋没過程の上層から多量の土器、石器、木製品などのほか、建築材の集積、イノシシ(ブタ)下顎骨配列遺構、埋葬人骨(1号人骨)を検出している。建築材集積は河道1埋土中、微高地2寄りの斜面から検出された。梁か桁と思われる径約20cm、長280cmほどの半截丸太材5、径10cm弱、長約290cmの両端部を加工した棒材13、壁材と思われる板材16、その他の棒材等約100がおよそ3×6mの範囲にほぼ平行に並べられており、柱材は存在しない。材は他の出土木製品に比べ保存状態が悪く、傷んだ建物の部材を一括廃棄したものと思われる。

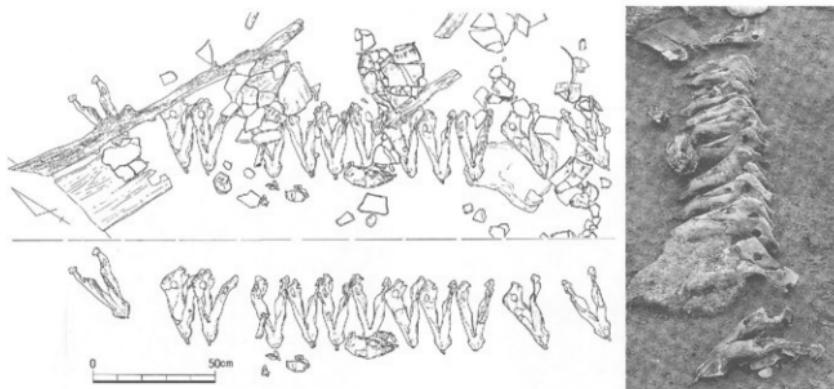
イノシシ(ブタ)下頸骨配列遺構は建築材集積付近のやや上層より検出された。斜面に直交して12頭分のイノシシ下頸骨が並べられており、斜面上方から1号下頸骨・・・12号下頸骨と呼んでいる。下頸骨は、転落したとみられる12号下頸骨を除き、歯を下に向けており、犬歯はすべて抜かれている。下頸枝には径3cm程の円形の穿孔が認められ、本来棒か紐に吊るされたものと思われる。また、ほぼ中央の6号下頸骨の連合部にはシカの頭骨が置かれている。これはメスの成獣であり、頭頂部に四角く穿孔されている。

1号人骨は河道最深部の埋土中より検出された成人男性の屈葬人骨である。墓壙は確認されておらず、周囲の上層からみるかぎり墓壙はなかった可能性が高い。

微高地2では弥生前期中葉から中期後葉を中心とする遺構が濃密に検出されているほか、少ないながら弥生後期後半に位置付けられるものも存在する。遺構同士の切り合いが激しく、性格不明のもの、組み合わせ不明の柱穴がほとんどであるが、溝状遺構、土壤墓など概して集落の周辺部的な様相が強いが、調査区の南東端では弥生中期と思われる堅穴式住居跡2~3棟を検出しており、柱穴の存在から、他にも削平された堅穴式住居や高床式建物が複数存在していたようである。また溝状遺構は互いに重なり、切り合形で5条を検出している。これらは前期中葉から中期中葉のもので河道1に先行している。微高地の内側のものが古く、河道側のものほど新しい傾向がある。灌漑用水路と考えられるが、最も内側の前期から中期初頭段階のものは、東端部で南北に方向を変えながら微高地最高部を掘り割っており、環濠的な性格も考えられる。埋葬人骨は3体が確認されており、いずれも屈葬品、供獻土器などは伴わず、木棺などの痕跡も確認されていない。また埋葬頭位や墓壙の長軸方向などに規則性は認められない。中期中葉から後葉に位置付けられる可能性が高い。このうち2号人骨、3号人骨は肩から下の骨はほぼ位置を保っているものの、頭骨、頸椎が動いており。いずれも、腐朽に伴って動いたものとは考え難く、何らかの葬送儀礼に伴い頭が動かされた可能性が高いように思われる。また、他の遺構埋土中にも人骨片が混入しており、この3基以外にも本来は土壤墓が存在したようである。



第3図 木材集積遺構



第4図 イノシシ(ブタ)下頸骨出土状況(上:周辺遺物含む、下:骨のみ)

出土遺物 出土遺物は河道埋土中からのものが最も多く、遺構内からも土器を中心に多くの遺物が出土している。

土器は先に述べたとおり溝あるいは河道出土のものがほとんどであり、一括資料としては良好とは言い難い。しかし弥生時代前期中葉から中期中葉までのものを中心に多量に出土しており、良好な資料の少ないこの時期の土器研究においてかなりの情報を期待できる。また、南九州系の甕や廉状紋を持つ壺破片などの外来系の土器も出土している。

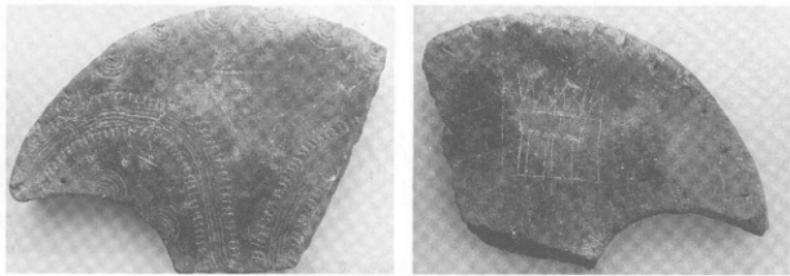
木製品も前年度にまして豊富であり、なかでも2頭のシカや木葉状の刻線を1~8単位組み合わせて全面に施す剣形木製品が注目される。容器類では、黒漆の地に赤漆で紋様を描いた大型の彩紋高杯、全面に黒漆を施したジョッキ形容器のほか、各種の箱が出土している。武器・武具類も完形のものを含む弓矢頭、盾、また組合式の木製甲も昨年度と異なる形態の部品が出土している。

また土製品では裏面に高床式建物の絵が描かれた分銅形土製品が出土している。この高床式建物は棟持柱をもつ1間×2間の建物で、梯子の表現を欠くものの伝香川錦の絵画建物に酷似する。この絵は焼成後に描かれており、沈線内には一部赤色顔料が残っている。分銅形土製品の性格を考える上でも興味深い資料と言える。そのほか骨角製品やイノシシ、シカ、イヌなど獸骨類の出土も多い。

ま と め 今回の調査では遺物、特に土器、木器に豊富な資料を追加し得たほか、埋葬人骨やイノシシ(ブタ)下頸骨配列遺構などの多様な遺構の検出が特筆される。イノシシ(ブタ)下頸骨配列遺構は、架けられる棒を伴っていないなど細部で異なるものの、佐賀県菜畠遺跡、奈良県唐古・鍵遺跡に同様の例が知られているほか、類似する民俗例も報告されており、弥生時代の精神生活を考える上でも興味深いものである。また、埋葬人骨は非常に残りが良く形質人類学的な資料としても貴重なものと言える。一方、頭骨や頸椎が動かされているものが存在することは、今後とも出土状況等を検討していく必要があるが、埋葬後頭骨だけを取り出すような儀礼の存在も可能性として考えていく必要があろう。



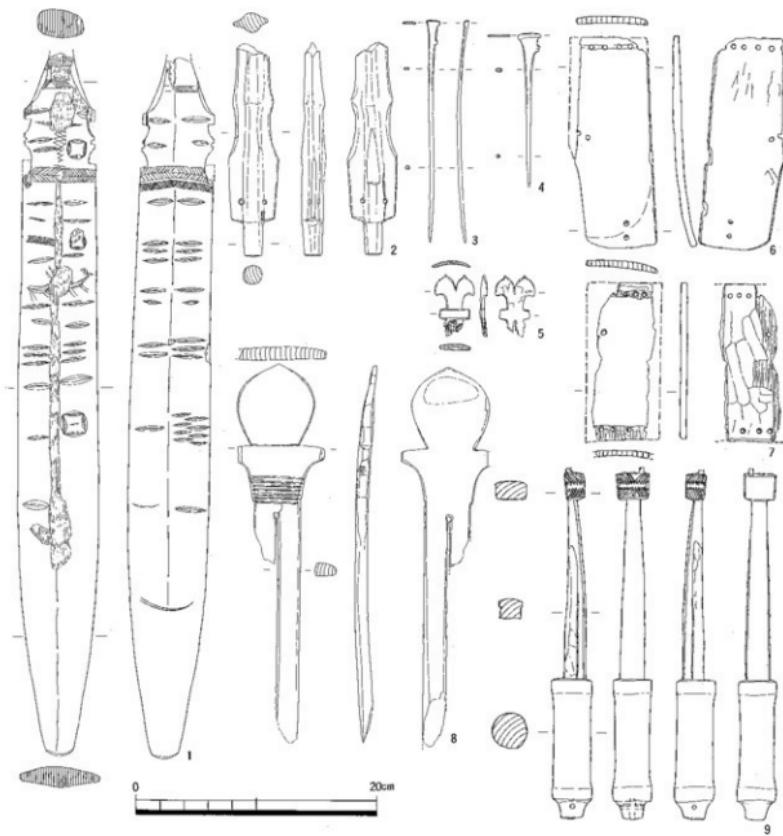
第5図 埋葬人骨



(表)

第6図 分銅形土製品

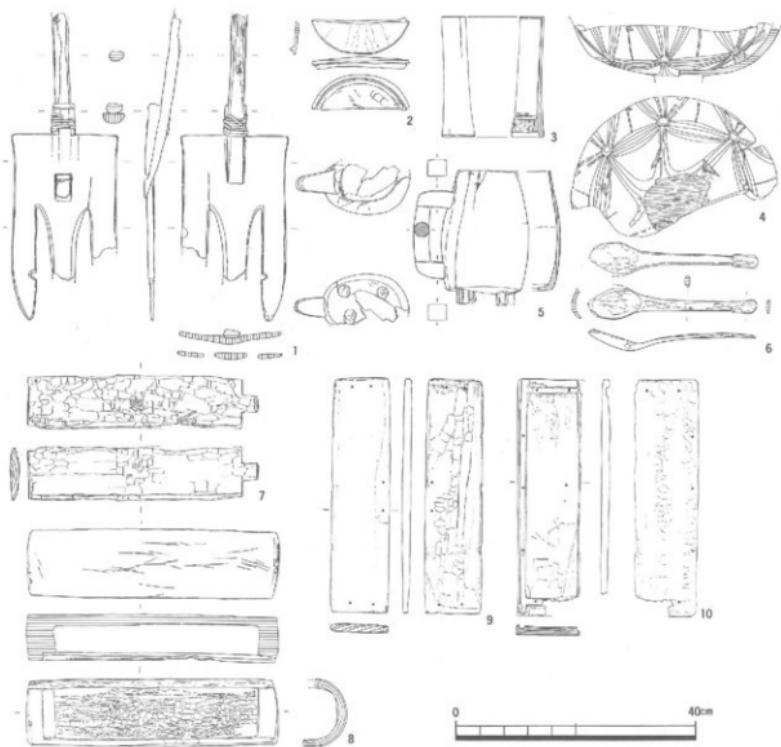
(裏: 棟持柱間2.7cm)



第7図 出土木製品実測図 (1) (S=1/4)



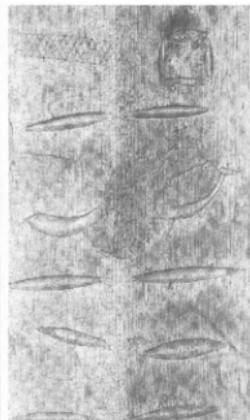
第8図 分鉢形土製品 (S=2/3)



第9図 出土木製品実測図(2)



第10図



第11図

かみいふくたちばな 上伊福・南方（済生会）遺跡（上伊福立花調査区）II

所在地 伊福町1丁目17-18

調査期間 940315～940805

調査原因 病院施設建設

調査面積 約770m²

時代 弥生時代～

担当者 扇崎由・安川満

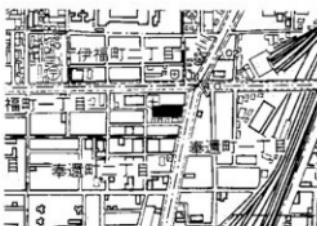
遺跡の概要 当調査区は立花I調査区の東約100mの地点にあたり、北約200mには上伊福遺跡、北東約300mには南方遺跡が存在する。事前の試掘調査から立花I調査区から続く微高地が存在することが予測された。

調査の概要 当調査区では既存建物による搅乱が著しいものの、主に平安時代～中世の河道及び溝群、弥生時代中期～古墳時代初頭の遺構群を検出した。

平安時代～中世の溝群は調査区の東側に集中しており、いずれも南北方向に流路をとる。溝群は上層と下層に大きく分けることができ、このうちSD2005、SD2007は自然河道と思われる。SD2007は東端に一部を検出したのみであるが、堰あるいは護岸と思われる大規模な「木組み」を伴っている。また、SD2011では杭列及びその西側にアシ様の植物質を敷き詰めた水溜状遺構を検出しており、いわゆる「置賣」的な施設の可能性がある。これらの溝群は、この北側に残存する条里地割りの坪境の延長線とほぼ一致している。

弥生時代中期～古墳時代初頭の遺構群は微高地基盤上面で検出した。この微高地は調査区北東端に向かって低くなるようあり、低地部の一部で水田層及び畦畔状の遺構を検出している。検出遺構は搅乱の及んでいない部分では濃密に分布しており、多くは弥生時代中期に位置付けられると思われる柱穴、溝、土壙墓、性格不明の土壙であり、他に古墳時代初頭の井戸2基が存在する。このうち土壙墓は2基(SK2078, SK2087)を検出している。SK2078は長さ1m以上、幅0.57mの長方形の土壙であり、北側小口部は破壊されている。人骨は粘土化したものがわずかに残るだけであったが、南側小口部と東側側板が残存していた。一方SK2087は長さ1.3m以上、幅0.9m以上の長方形の土壙で、木棺痕跡等は認められなかったが、保存状態は良くないものの屈葬人骨が残存していた。

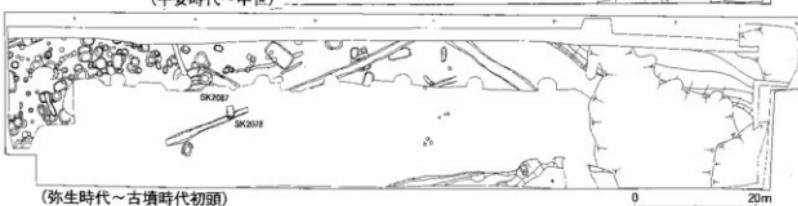
まとめ 当調査区において検出した微高地は、立花I調査区で検出した微高地と一連のものと推定され、かなりの規模でさらに南に広がるものと想される。弥生時代の遺構群は中期中葉を中心としており、蓮田南調査区で検出した微高地とともに北東側一帯にひろがる南方遺跡群に関連の深い集落であったと思われる。



第1図 調査地点



(平安時代～中世)



第2図 遺構平面図

三手向原（処分場）遺跡

所在地 岡山市三手字向原
調査原因 不燃ごみ最終処分場建設
時代 古墳時代中期～鎌倉時代

調査期間 930920～
調査面積 10,600m²
担当者 草原 孝典 河田 健司

遺跡の概要 三手向原遺跡は、造山古墳の東側約1.2kmのところに位置する。不燃ごみの最終処分場建設に伴い、平成5年度から発掘調査を行った。試掘調査の結果、古墳時代から中世に至る包含層が敷地全体に広がることが確認された。当調査区に隣接する地点で行われた山陽自動車道建設のための発掘調査の際に、古墳時代から中世に至る集落跡が確認されており、当調査区でも同じ様相を呈する遺跡の存在が予想された。

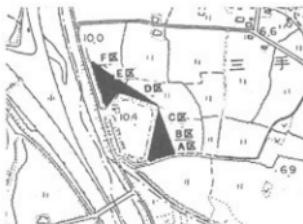
調査の概要 調査は敷地の形状が散在的であるのと、処分場建設の工程や発掘調査による排土との関係からA～F区の6区に地区割りを設定し、最も南に位置するA区から行い、続いて北のB区以下の調査を行った（第1図）。ここでは、平成6年度までに調査を終了したA、B、C区の概要を簡単にまとめてみる。

A、B、C区で検出された微高地では、まず古墳時代中期から後期にかけての集落が形成されている（第2、4図）。集落の構成は微高地中央部に堅穴住居が9軒あり、それぞれがあたかも半円弧状にならんでいるような配置で検出された。堅穴住居内には土器が比較的多く残存していた（第5図）。微高地の東端には、土師器の壺やミニチュアの土製品を埋納した長楕円形の平面プランをした土壙が幾つか纏まって検出されており、人骨等は残存していなかったものの、その形状や住居跡との位置関係から墓壙と推定される。この他、堅穴住居群の中央付近には土器溜まりも検出された。

古墳時代以降は奈良、平安時代に属する遺物が極若干は出土したが、遺構は認められない。明確な遺構が形成されるのは、鎌倉時代で、掘立柱建物数軒と柵列と推定される柱穴列や土壙、溝が検出された。遺構面は2面あり、上層が13世紀後半で、下層が12世紀末から13世紀初頭の時期である。下層は遺物も少なく、遺構もそれ程多くない。小規模な掘立柱建物2軒と井戸が検出された。上層の遺構は、下層の遺構を埋めてある程度造成した上に形成されている（第3、6図）。上層の遺構については、特に3面庇をもった建物の周囲には溝をめぐらしており、その溝は集水樹状の土壙に接続されているなど、この時期の建物としてはやや特異な景観を具備している。また、この建物の周囲からは中国製陶磁器、金具、渡来鏡の他に常滑焼や魚住焼などの国内の他地域から運ばれてきた土器が多数出土しており、一般集落の様相とはやや異なる。

13世紀後半以降当該微高地とその東側に存在する河道は序々に水田化されていく。そして、特に低位部の水田は18世紀末に土壤改良を行ったらしく、無数の土壙が掘られている。

まとめ 今回の調査では、古墳時代と鎌倉時代の集落の様相の一端が明らかとなった。いずれも存続幅が比較的短いことから、当時の集落の構造を分析する貴重な資料になるものと思われる。



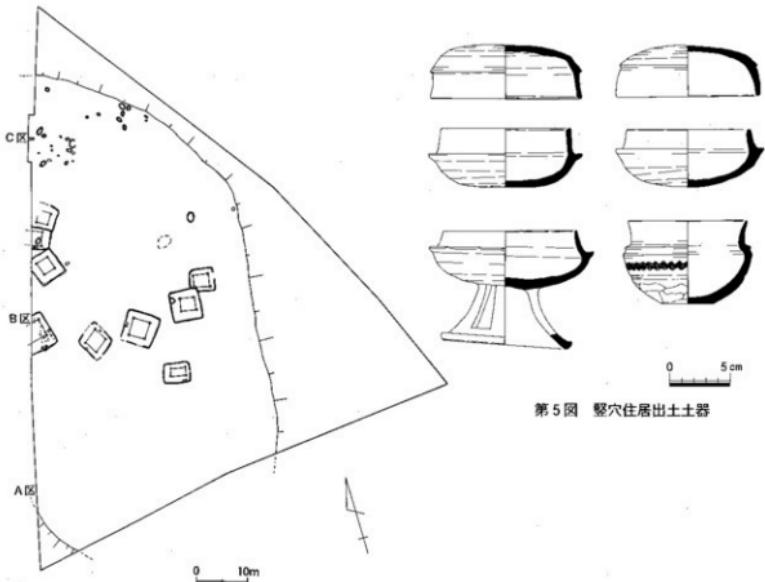
第1図 調査地点



第2図 B区全景（古墳時代）



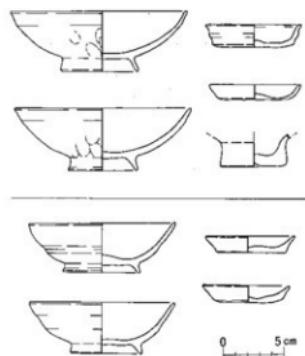
第3図 A区全景（鎌倉時代）



第4図 古墳時代遺構平面図



第6図 鎌倉時代（上層）遺構平面図



第7図 上・下層出土土器
(上段下層・下段上層)

めぐろじょうやま 目黒上山遺跡

所在地 岡山市目黒町86-1・長利字石井林451ほか
調査原因 大規模住宅団地造成工事
時代 弥生～古墳時代

調査期間 940601～940724
調査面積 147,800m²
担当者 神谷 正義・栗岡 実

遺跡の概要 岡山市目黒は芥子山西端の山裾にあり、数百mを隔てて西方には操山が迫る。中世まではこの両山塊の山裾まで海が入り込んでいた。古代には国府関連の倉庫群とされる米田(当麻)遺跡が、対岸にある操山の裾部に所在する。原尾島・雄町遺跡や国府の所在する旭東平野からは、旭川かこの地を経由しなければ海には出れない。交通上重要な土地柄であった。

これまで目黒地区では、弥生時代と想定される石斧が発見されていた程度で、遺跡の存在は知られていないかった。ところが、大規模住宅団地造成工事に伴って、確認調査を実施したところ、尾根筋を中心に古墳時代初頭頃の集落跡が発見されたのである。

調査の概要 開発面積は147800m²に達するため、バックホーにより表土を剥ぎ、遺構の確認された場所を中心に精査して行った。尾根筋・気になる箇所はトレーナーを設定し、遺構の有無を確認していく。山腹は後の田畠造成などで大きく改変されていたが、遺構残存状況は良好で住居跡等が検出された。発掘調査は約二ヶ月弱および工事の間隙を縫って実施せざるを得なかったが、多くの成果をあげることができた。

尾根上に形成されたムラ跡 尾根上にそして段造成された山腹斜面に、古墳時代の堅穴式住居が15軒ほど確認された。住居跡は四角形。大きさは一辺8mの大型(SH9)から4m程度の小型(SH17)のものまで多様である。しかし、壁帶溝と住居内から外に伸びる排水溝およびそれに連結する集水穴は一般的な存在である。また床面がやや盛り上がった「ベッド状遺構」が認められる住居(SH9)や石垣を築いて改修し拡張された住居(SH3)もある。石垣壁を持つ堅穴式住居は全国的にも稀な遺構である。焼失住居(SH9)も見られる。この集落は、土器形式で1～2形式程度存続した後に廃絶されたようである。

さて、これら住居跡の間を縫うように幅3m程の溝(SD8)が確認されている。住居跡をつなぐ道や降雨時の雨水が集約する水みちの役割を果たしていた遺構と考える。

谷頭でのまつり 谷頭に露岩が二つ並んでいる。その根もとに炭の堆積が認められ、岩肌も焼けていた。しかも傍らに2つの壙が完全な形のまま供えられていた。磐座祭祀跡と判断した。この谷頭は今でも水の湧く場所で、水の祭祀が執り行われていた可能性がある。ただ祭祀跡は、尾根上の古墳時代のムラとの関連ではなく、弥生時代後期に限定される。



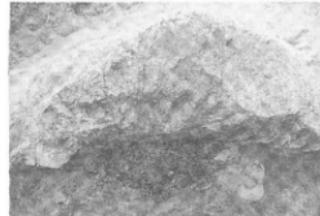
第1図 調査地点



第2図 SH9の発掘のようす



第3図 谷頭でのまつり



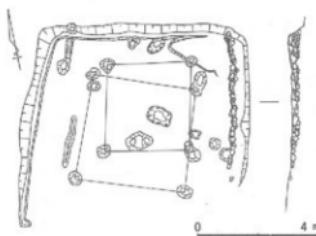
第4図 供獻土器と炭

出 土 物 弥生土器・土師器・石器・鉄器が出土している。土器は古墳時代初頭の土器が中心で、甕・高壺・鉢・壺(少量)が出土。甕には岡山地方の平野部に一般的な「ボーフラ」タイプと、東瀬戸内海島嶼部に特徴的な土器とされる「くの字形口縁」をもつ叩き目のある甕が見られる。石器はサスカイト原石とサスカイト製の搔器・削器、それに剣片が出土している。この場所で石器を製作していたことは疑いない。弥生時代後期の時期だけに特異である。土鍬も多量に出土している。円柱形・球形など多様である。用途によって使い分けていたと思われる。また網に備え付けられて廃棄された状況で出土していた一群もあった。鉄鏃と推測される鉄器片も出土している。

ムラの特徴 このムラは谷間でも水田を営んでいた集落である。しかし、この地が内海を見渡せる格好の位置であること、また、石鍬・土鍬や製塙土器が多量出土することなど、生業の多くの部分を海に求めていた事は明らかである。漁業や製塙作業また船を介しての交易（他地域土器・石材に象徴される）などに勤しんだムラの姿が想像される。このようなムラは、ここから西大寺さらには児島をはじめとする島嶼部一帯に点在し、平野部の集団とはまた異なる独自のまとまりを為していたと思われる。旭東平野の遺跡や他地域の遺跡との係わりなど、興味つきない問題を提供してくれた遺跡である。



第5図 SH 3 全景



第6図 SH 3 (石積壁をもつ住居)



第7図 遺跡全体図

足守陣屋関連(足守小)遺跡

所在地 岡山市足守827

調査期間 940621~941017

調査原因 プール新設

調査面積 700m²

時代 江戸時代

担当者 高橋 伸二

遺跡の概要 当調査地点は足守藩主木下家の庭園近水園に近接し東側には足守川をのぞむ位置にある。付近には武家屋敷なども残り昔日の面影を残す。

また、当調査地点の西側に位置する足守小学校内では中世以降の遺構の存在が確認されており、屋敷跡なども確認されている。

調査の概要 今回の調査地点付近では調査に着手する直前まで畠および果樹園として利用されていたがこの付近では江戸時代以来の屋敷割りが現在でも比較的よく残されており、新設されるプールはほぼこの当時の屋敷地内におさまるものと予測される。

調査区の東端では区内に直行する溝状の堀り込みが検出された。この遺構のすぐ東側には足守川の土手があり、屋敷を区画する溝と推定される。

調査区の中央部北端では井戸が検出された。この井戸は石積のもので、さらに周囲には排水施設と推定される集石をめぐらしている。また、これらの遺構の南側には多量の炭および焼土塊の入る土坑もありこの付近に屋敷内の風呂あるいは台所の存在が推測される。

調査区の西半はほぼ全面がぐり石状の疊におおわれており、その下層から19世紀代の陶磁器を伴う土坑が検出された。これらの土坑はいわゆる「たたき」で固められたものも存在するが、多くはゴミ穴と推定される。

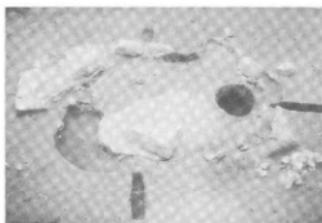
まとめ 今回の調査では、幕末期と推定される遺構を確認することができたが、それ以前の遺構については、まったく確認することができず、造成されたと推定される砂層中から僅かに中世の土器片等が出土したのみである。そのため当地点においては幕末期になんらかの土地改修などがおこなわれたことが推定される。



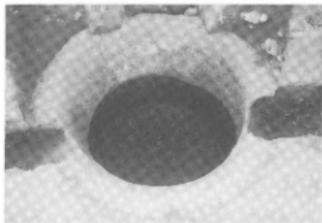
第1図 調査地点



第2図 調査区全景



第3図 池状遺構



第4図 土坑(ゴミ穴?)

吉備津田淵後（鯉山小）遺跡

所在地 岡山市吉備津1708-6

調査期間 941011~950331

調査原因 運動場拡張

調査面積 1,265m²

時代 古墳時代～江戸時代

担当者 神谷 正義・高橋 伸二

遺跡の概要 当調査地点は備中国一宮である吉備津神社の西方に位置し、門前町として栄えた宮内地区に隣接する。今回の調査地点の北側では讃岐時代晚期以降連続と集落が造営されていることが確認されている。

調査の概要 今回の調査は小学校の運動場拡張とともに用水路と道路が移設される部分について調査を行った。そのため調査区は東西に長いL字状を呈する。

調査区内では近世以降に水田化される際、かなり地下げが行われたようで、現在の水田耕土を除去した段階で中世から近世にかけての遺構が検出される。

中世末から近世にかけての遺構は土坑および溝が確認された。このうち溝は東西方向に走るもののが1条、南北方向に走るもののが6条検出された。

中世の柱穴は調査区の全面で確認されるが、特に東によるほど集中する傾向がみられる。また、柱穴の中には土師質の壺や錢貨を埋納したものも多数認められる。

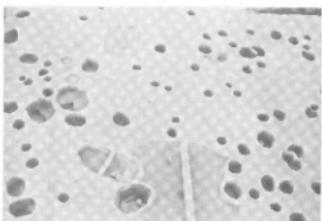
古墳時代の遺構は、祭祀跡と推測されるものが確認された。これは、河道の縁辺部と推定される不安定な砂層中に須恵器の壺身と蓋を並べて埋められたものである。

ま と め これまでの調査で、当調査地点においては平安時代後半以前の遺構については、古墳時代の祭祀遺構以外は確認されていない。この祭祀遺構については当時の水辺での祭祀と考えられる。また、明確な遺構は平安時代末から中世以降のものしか確認できないということなどから、当調査地点での微高地は古墳時代以降から平安時代ごろまでの間に河道が埋まって形成されたものと推定される。

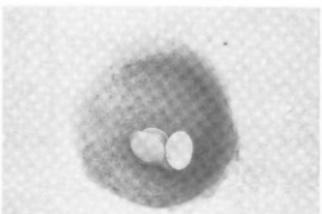
また調査区付近には近世まで寺院が存在していたとの伝承もあるが、現状では明確に寺院の存在を証明できる遺構は確認できていない。しかし、瓦や石造物等が出土し中・近世期の溝や土坑もあり、付近に寺院が存在していた可能性は高い。



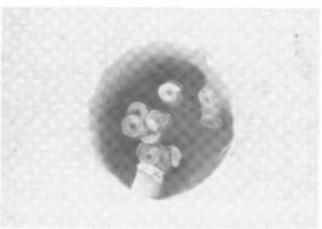
第1図 調査地点



第2図 柱穴群 (II区)



第3図 土器埋納状況 (I区)



第4図 錢貨埋納状況 (III区)

岡山城跡本丸中の段 第Ⅲ次

所在地 岡山市丸の内

調査期間 941003~950331

調査原因 史跡整備（国指定史跡岡山城跡保存整備事業）

調查面積 1,500 m²

時代 近世

担当者 乗岡 実



第1図　岡山城と調査地点

^{注)} 太線は略

遺跡の概要と調査に至る経緯 岡山城は、旭川下流の平野部に位置する近世領国経営の拠点城郭で、現市街地の礎となった。本丸を旭川の西岸に置き、南と西に堀が幾重にも廻って二の丸、三の曲輪、城下町が展開する。この構造の概要是、旭川の付け替え、西側の石山を中心になった旧城から今の場所への本丸移転、堀の掘削や街路の設定などを含む、宇喜多秀家の大規模工事で定まったものとされ、慶長2（1597）年には、本丸北東部に戦中まで建っていた天守閣が竣工している。明治以降、最も内側の内堀を除き各堀は埋め立てられ、二の丸以下は市街地に埋没した。本丸は旧制岡山第一中学校の校地となり、戦後は岡山市管理の都市公園として整備され観光客や市民に親しまれてきたが、昭和62年に至り本丸、旧本丸と特別名勝でもある後楽園を合わせて国の史跡に指定された。これを受け、平成4年度には史跡整備に向けての発掘調査が国庫補助事業として開始された。発掘調査は、本段・中段・下段の三段からなる本丸のうち、当面の整備対象となる中段について行っている。ここは、国指定重要文化財の月見櫓が現存し、藩の政治や儀式を行うための表書院と呼ばれた建物群がかつて存在した場所である。

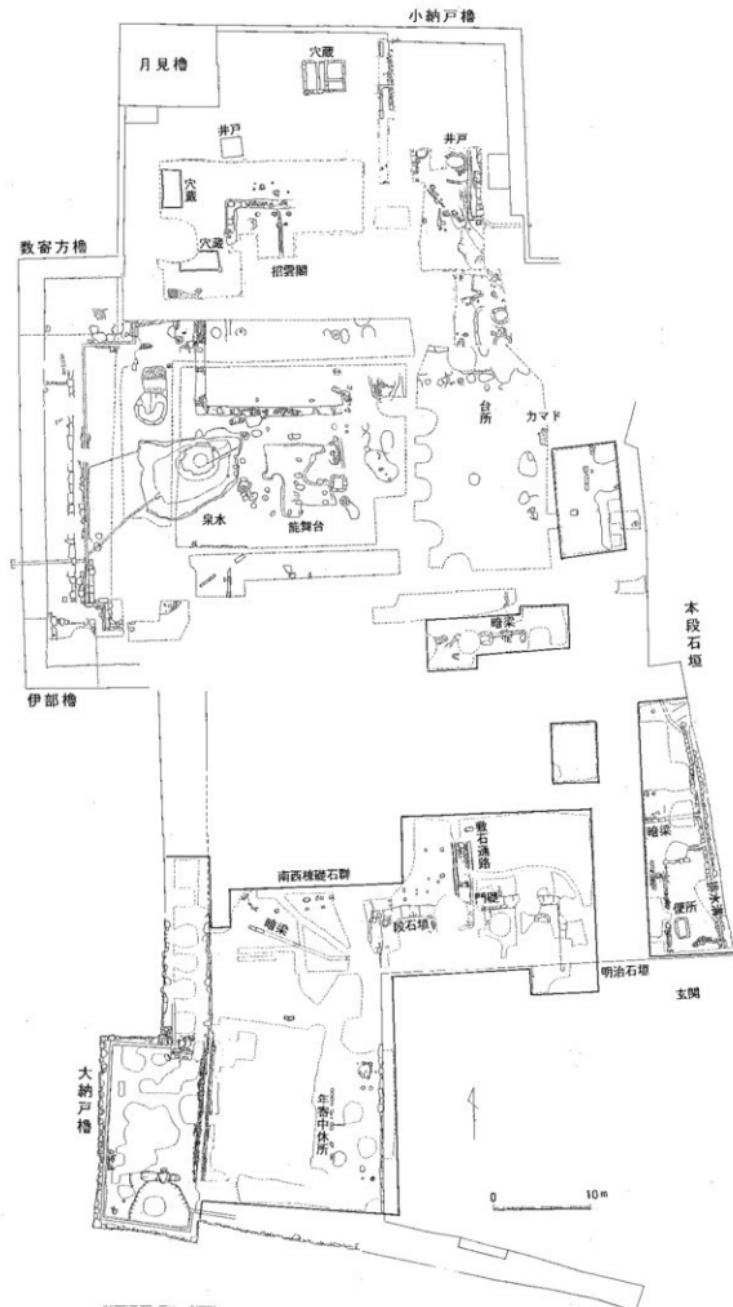
検出遺構の概要 表書院は明治になって破却され校舎が建てられたが、造成土による地上げを伴った事で、表書院期の遺構面は概して現地表下40cmの深さで良好に遺存していた。しかし一方では、校舎の基礎、戦災廃材の遺棄場、明治造成土の薄い所が散在し、表書院期の遺構が既に損なわれた所もある。そうした場所ではさらに掘り下げを進めた結果、古い時期の遺構面を複数確認した。従って、検出遺構は表書院関連の上層遺構と、下層遺構に大別される。上層遺構は、岡山大学池田家文庫などにあって元禄13（1700）年を最古とする各種絵図と内容や配置が良く一致するが、下層遺構は発掘調査によって初めて明らかになった内容である。第III次調査は、中段の主に南半部が対象となった。

上層遺構 表書院の玄関奥にあたる東端のトレンチでは、南北に延びる通路状の部屋の下部構造とみられる石組が2条、便所とみられる土壙、本段石垣の根に沿う花崗岩材の排水溝などが確認された。排水溝には、豊島石をくり抜きホゾをきって繋げた暗渠があり、各建物の床下から延び合流する。この暗渠の隙間、また屋外の土間に鮮黄色や鮮赤色の漆喰が施されていた。その西のトレンチでは、明治に造られた現役の低石垣の北裏に、表書院が建つ地盤を区切る高さ1m余りの低石垣が埋め込まれていた。これは一中構築時にかなり壊されていたが、平滑な面取花崗岩材を用い、南に折れて今も現役の西側部分に繋いでいる。石垣東西部の中央には、階段が想定できる張出しがあり、扉門の門檻とみられる方形切石材が検出された。北へは、延石の間に石を敷いた通路が7m程続く。敷石通路の東から北側一帯は遺構の残りが悪く、北のトレンチで豊島石製暗渠と土間の漆喰、北東のトレンチで礎石の一部を確認したに過ぎない。敷石通路の西側一帯は、遺存が良好で、礎石が十数個まとまって確認され、絵図にみる楕円間・鹿ノ間など、表書院の南西の棟に比定できる。この建物と敷石通路の間、また絵図でも庭とする建物の南は広範に、小円礎が敷きつめられている。庭の地中にも豊島石の暗渠が構築され、傾斜から西に排水された事が窺える。庭の南東奥は、南北の低石垣の大場に沿って、絵図で年寄中体所とする小建物の礎石、一帯を区画する塀の基礎とみられる列石、付属の便所跡が確認された。

本段北東隅の天守閣と対峙して、最大の大納戸櫓が中段南西隅に明治まで建っていた。この櫓台は南北20m、東西11mで、外側高石垣の張り出しとあいまって他の櫓より独立性が高い構造を持つ。櫓台の内程は、激しい擾乱が及んでいたが、礎石とみられる巨石が幸うじて3個遺存していた。

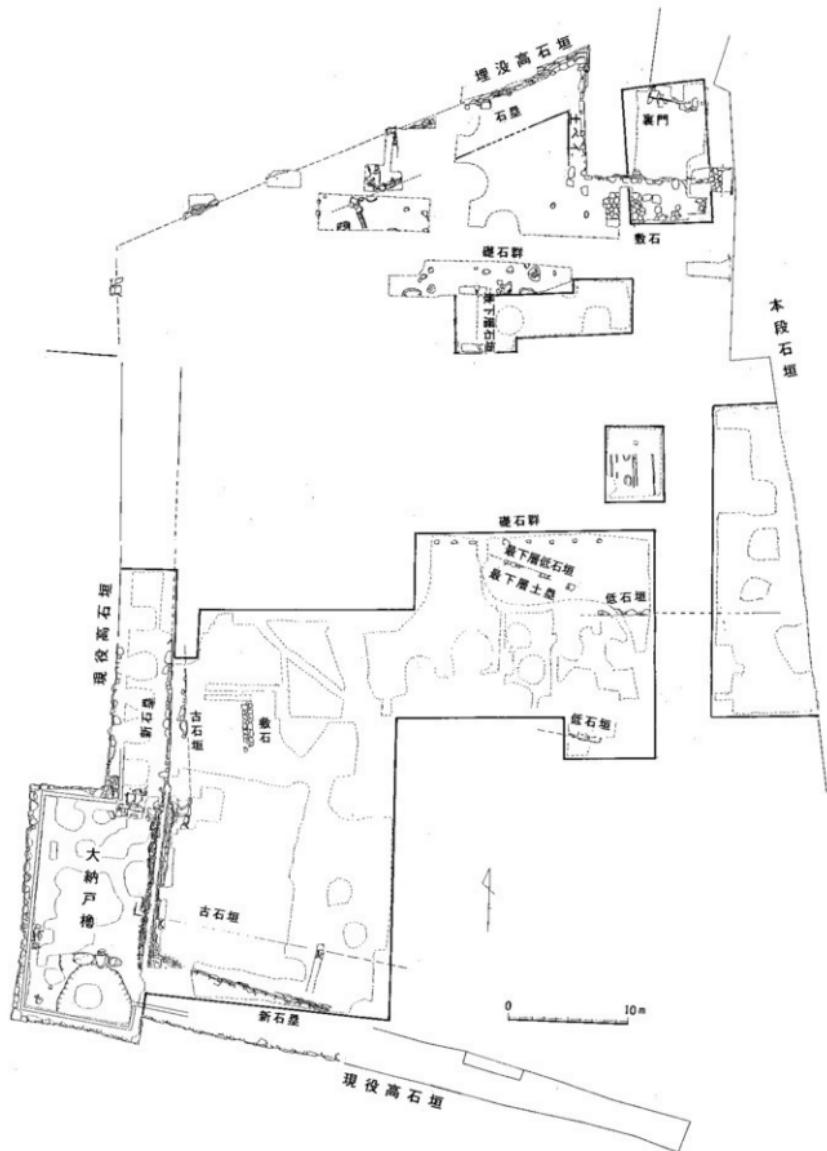
下層遺構 層位的には、今みる中段の完成以前のものを下層遺構としている。すなわち第II次調査で、中段の半ばやや北寄りに、北西向き埋没高石垣が確認され、旧中段は今の三分の二程の広さしかなかった事が判明した。拡張時に造られた新しい高石垣と一体的に月見櫓が建っており、下層遺構の下限は月見櫓建設時となる。月見櫓は、非同時代史料に池田忠雄の建設とあり、続く池田光政段階には史料が整っているなかで櫓建設や城内普請の記事がなく、また幕府による規制も強化されるから史料的には忠雄段階で良い可能性が強い。調査結果は出土遺物も含めこれと矛盾しないが、石垣の様相や拡張時の埋土に初期の伊万里焼を伴う事から、寛永9（1632）年を下限とする振幅の内では新しい所に年代が求められよう。高石垣を埋めるこの造成土は特徴的な川砂を主体とするもので、一部はそのまま以前から段の内であった所にも及ぶほか、全般的に下層各造成土の土質構造や遺物組成は上層に対して特徴的で、層位的な分離は比較的容易である。下層では場所によっては数枚の遺構面が確認され、天守閣竣工の頃からの40年足らずの間に、目まぐるしく地上げを伴う改造が繰り返された事が分かる。

段の中央部付近では、最下層で高さ0.6mの土留状低石垣を確認した。南側には土壘状の高まりを伴って



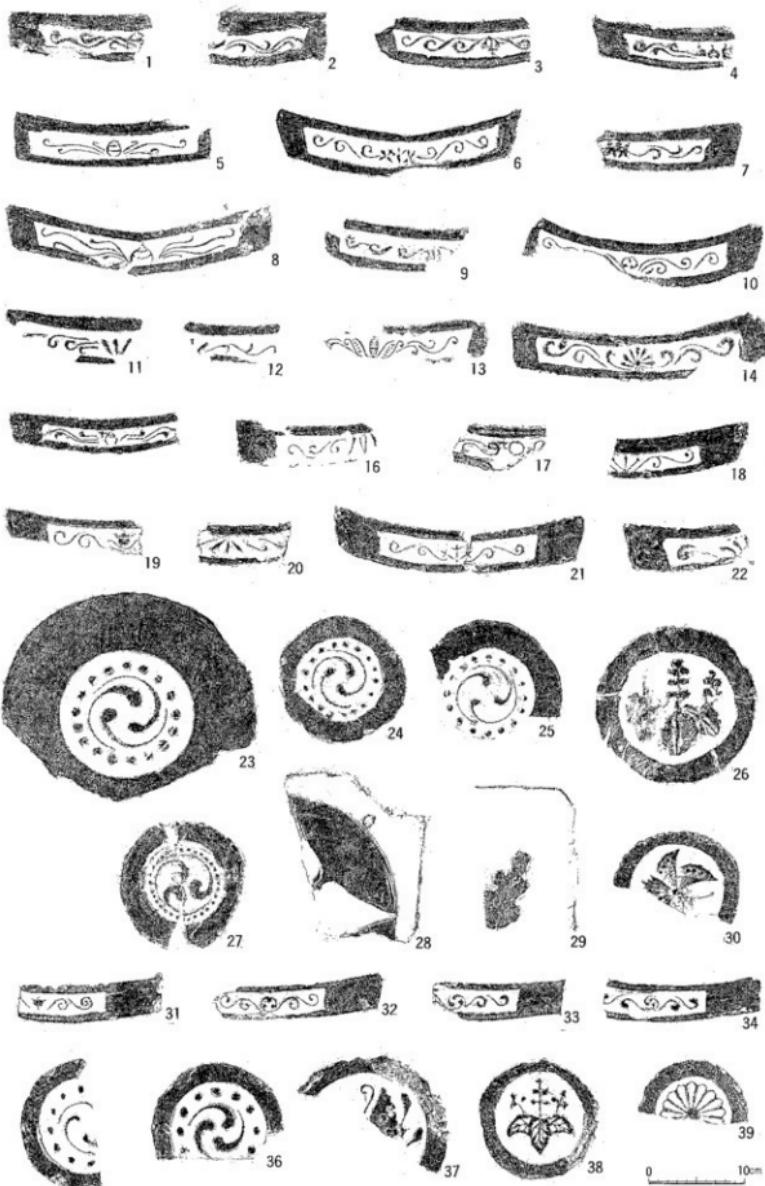
第2図 上層検出造構

注) 太線内が94年度分調査区



第3図 下層検出遺構

注) 太線内が94年度分調査区



第4回 出土瓦

いる。北側のトレンチでも類似する石垣が南北に延び、また、図示していないが東側のトレンチでは近似レベルで本丸高石垣に切られる礎石状列石が確認された。これらは、以後にみられる様な多量の瓦を伴わず、本丸建設以前の城郭遺構か、造成工程上の遺構の可能性が考えられる。その上の遺構面は下層の内で最も整っている。層位的に細分可能な部分もあり緻密な共存関係は問題が残るが、多量の瓦を含む造成土に覆われ、その基本は秀家期である可能性が強い。少量ながら金箔瓦を伴うものこの面である。中から北よりには御殿的建物とみられる礎石列が確認される。南は低くなつて、建物に沿う東西方向、また南の高石垣に沿う斜方向の低石垣が段差を造り出す。さらに造成土を挟んで上の面でも、北半部を中心に淺溝群や礎石抜取跡の上塙や礎石状石材が確認される。

北東のトレンチでは第II次調査で予想された裏門の構造を確認した。部分的にはあるが通路の床面を確認し、北から入り東に折れ、更に南ないし北に折れる入城ルートが想定できる。通路部の幅は5m内外であるが、最後の上り口はなお未詳。門の周囲の石垣上では、土壌基礎状の石組、建物床とみられる石敷、別の建物礎石の順に、かさ上げを伴いながら変遷する状況が把握できた。

南西部の大納戸櫓は、その城内側石垣の見かけ高が上層期には1m程に過ぎないが、根を追求すると高さ3m余りにもなり、北と南に石墨が取り付く構築時の勇壮な構造が判明した。また、この石墨内側石垣に平行する深い位置に別の石墨内側石垣があり、その延長は櫓台に埋め込まれ、大納戸櫓以前に別の綱張りが存在した事が判明した。大納戸櫓は小早川秀秋によると伝わるが、考古学的に埋没石垣は宇喜多期で良く、櫓はこれに続く段階となる。なお、北の新しい石墨は大納戸櫓構築より遅れる可能性が指摘でき、図の敷石はさらに遅れて櫓の東の低位部をかなり埋めた時期のものである。

下層遺構は複雑で未確定な部分も多いが、古い時期ほど、南側の低位部が広く深く、高石垣の縁には高い壁構造があつて、仕切の低石垣なども合わせて全体が起伏に富み、北半部の御殿的な建物を建てたる空間が狭かったのに対し、次第に中段全体の平坦化が生活面のかさ上げという形で進行、広い御殿空間を求めて遂に段そのものの拡張に至った状況が読み取れる。これは、軍事施設から政治の場へという城郭機能の重心変化に適している。また、軍事面での中段の整備は、大納戸櫓構築時に南から南西、続いて西、そして中段拡張時の北西から北へと順に推移した事が考古学的に裏づけられる。

出土 遺物 圧倒量は瓦で、他には陶磁器類、鉄釘、古錢などがある。下層遺構に伴う陶磁器類は、日常生活の場としての側面が薄いこともあって上層遺構に比べて少ないが、備前、唐津、美濃（含志野）、中国（染付）、伊万里、土師質などが、御殿的な建物のある北半部を中心出土した。このうち宇喜多期とみられる層位では唐津や志野の共伴例ではなく、伊万里は下層遺構最末の段拡張造成土に限られる。土師質のものは高い比率を占め、小皿主体で證明の外は儀式用とみられる。糸切り底主体。上層遺構共伴の陶磁器類は、備前、伊万里、唐津系、京焼系、土師質・瓦質などがあるが雜器類が主体。儀式用の食物残滓とみられる鰯その他の魚骨、獸骨、アカニシ・蛤ほかの貝殻と併出する。

平瓦の文様、特に下層共伴は多種多様で、建物毎に統一という状況には程遠い。図の1～30は下層関連。軒平瓦のうち1～4は宇喜多期に限定できる大納戸櫓内造成上、15～18は下層の中でもやや遅れる層位、19～22は下層最末の中段拡張時造成土からの出土。8・17は大坂城、10は広島城、15は備中高松城、20は下津井城に同範とみられる個体^①がある。23は金箔押の鳥衾、24は金箔押の獅子口の一部とみられ、ともに宇喜多期とみられる。金箔瓦は特殊な役瓦類に限られ軒平・軒丸全般にまで及ぶものではない。三巴が圧倒する軒丸瓦も、細かくは多種多様であるが、丸瓦部内面のコビキ痕^②はAが圧倒し、下層のうちでも新しい層位のものにBが加わってくる。28は留穴を持つ板状の筋瓦、29は桐文の小形鬼瓦。30は油田家家紋のアゲハ蝶文で、中段拡張時造成土等と共に。31以降は上層遺構共伴で、軒平瓦は二日市を主産地とする岡山系三巴文^③が多くを占めるようになる。

(1) 大阪市文化財協会『難波宮址の研究第九』1992、広島市歴史科学教育事業団『広島市中塙跡発掘調査報告』1992、岡山市教育委員会保管品、倉敷市埋蔵文化財センター保管山本コレクション。大坂城は黒田慶一、下津井城は福本明・中野倫太郎の各氏の御協力を得た。

(2) 森田 克行「屋瓦」『揖津高櫻城』高櫻市教育委員会 1984

(3) 乗岡 実「瓦の語るもの」『岡山市近世寺社建築』岡山市教育委員会 1996

埋蔵文化財関連の協議と調整

発掘調査とその整理作業。文化財係の仕事はこれだけではない。分布調査・確認調査を経て、開発が埋蔵文化財に影響を及ぼすかどうかを調べる。その結果を踏まえて、文化財の保護行政に反映させるのも、主要な仕事内容である。

岡山市では開発行為事前指導時及び建築確認申請時に、埋蔵文化財の指導を実施している。その内容・協議次第で、立会・試掘・設計変更の指導を行い、最終的段階として発掘調査を計画・実施する。1994（平成6）年度は、立会249件・試掘29件に対応した。

その協議の過程において、文化財保護法に基づく提出書類の進達・伝達事務がある。岡山市教育委員会で取り扱った埋蔵文化財発掘の届出・通知等（直営分を含む）の一覧を表示しておく。なお、一覧は文化課受付日において年度の区分けをしている。

埋蔵文化財発掘の通知（第98条の2）	4 件
埋蔵文化財発掘の届出（第57条の3）	9 件
埋蔵文化財発掘の届出（第57条の1）	1 件
埋蔵文化財発掘の届出（第57条の2）	16件
指定史跡の現状変更許可の通知（第80条）	6 件
遺跡発見の届け出・通知（第57条の5・6）	7 件

埋蔵文化財発掘調査の通知（第98条の2）

種類および名称	所在地	面積 [㎡]	目的	主 体 者	期 間
集落・城跡 足守陣屋跡	岡山市足守827	700	ブル建設に伴う発掘調査	岡山市教育委員会 教育長 奥山桂	940601～ 960331
敷 布 地 黒住住宅地内遺跡群	岡山市日置町86-1 付238筆 ・長利子石林451外71筆	147800	宅地造成に伴う発掘調査	岡山市教育委員会 教育長 奥山桂	94061～ 960331
集 落 跡 跡町遺跡	岡山市旭町269・270-1 271-1・272-1・273	2791	店舗建設に伴う発掘調査	岡山市教育委員会 教育長 奥山桂	
敷 布 地 新庄上山根下遺跡	岡山市新庄上字山根下545-1 外	56	社会福祉施設建設に伴う発掘調査	岡山市教育委員会 教育長 奥山桂	941001～ 9412末

埋蔵文化財発掘の届出（第57条の3）

種類および名称	所在地	面積 [㎡]	目 的	主 体 者	期 間
集 落 落 政 所 遺 跡	岡山市加茂地内	1525	道路建設	岡山市長 安宅敬祐	9403～ 940730
集落跡・城跡 足守陣屋跡	岡山市足守827	700	ブル建設	岡山市長 安宅敬祐	960601～ 960331
官 街 跡 蓬前国守開港遺跡	岡山市今在家32-1 外	99	水道管理設	岡山市水道事業管理 水道局長 遠藤泰昭	940601～ 940620
敷 布 地 津寺遺跡	岡山市津寺62-4 外	40	水道管理設	岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤泰昭	940610～ 940710
集 落 跡 川入遺跡	岡山市川入56地先	100	水道管埋設	岡山市水道事業管理者 水道局長 遠藤泰昭	940620～ 941020
城 館 跡 岡 山 城	岡山市丸の内1丁目番6号地先外	980	電線地中化工事	岡山市長 安宅敬祐	940601～ 950331
敷 布 地 八幡道標遺跡	岡山市高島1丁目5番7号	229	保育園開設建設	岡山市長 安宅敬祐	940906～ 950331
集 落 跡 吉野口（辯天小）遺跡	岡山市吉備津708-6番地	1265	道路建設	岡山市長 安宅敬祐	未定
生 産 遺 跡 津島岡大遺跡	岡山市津島中三丁目1番1号	622	岡山大学福利厚生施設新宮工事	岡山大学長 小坂二度見	950310～ 951130

埋蔵文化財発掘の届出（第57条の1）

種類および名称	所在地	面積 [㎡]	目 的	主 体 者	期 間
牛 產 遺 跡 津島岡大遺跡	岡山市津島中三丁目1番1号	840	岡山大学福利厚生施設新宮工事	岡山大学長 小坂二度見	941003～ 950228

埋蔵文化財発掘の届出（第57条の2）

種類および名称	所在地	面積 [㎡]	目 的	主 体 者	期 間
敷 布 地 黒住住宅地内遺跡群	岡山市日置町・長利地内	147584	宅地造成	三島商事株式会社代表取締役曾東田良男 工野耐火瓦業株式会社代表取締役大塚伸文	940325～ 960331
敷 布 地 南 方 遺 跡	岡山市国体町1-16~2-22地先	221	電線地中化工事	中国電力株式会社 岡山営業所長 福田督	未定
集 落 跡 赤 田 遺 跡	岡山市赤田108-1・109-1	924	住宅建設	岡山市赤田132 松本千洋	940524～ 940520
敷 布 地 南 方 遺 跡	岡山市国体町2-22地先	32	電線地中化工事	中国電力株式会社 岡山営業所長 福田督	未定
集 落 跡 辯 町 遺 跡	岡山市雄町269外4筆	2791	店舗建設	岡備バス株式会社 取締役社長 松田典	940715～ 941115
敷 布 地 新庄上山根下遺跡	岡山市新庄上字山根下545-1 外	1466	社会福祉施設建設	社会福祉法人 豊山会理事長 古市健三	940715～ 950731
敷 布 地 津島江邊跡	岡山市北方2丁目1573-3 外	431	住宅建設	岡山市学南町2丁目6の7 尾島貢女	940904～ 9501末
敷 布 地 集落跡	岡山市市瀬町一丁目10-118	314	住宅建設	株式会社日興不動産 代表取締役 大塚昌宏	94101～ 951130
集 落 跡 辯 町 遺 跡	岡山市雄町269ほか	4361	店舗建設	岡備バス株式会社 代表取締役社長 松田典	941001～ 950215

城 焼 跡	岡山市内山下一丁目7-12番地先	394	電線地中化工事	中国電力株式会社 岡山営業所 福田督	941011~ 950320
散 布 地	岡山市国体町1-101外	450	住宅建設	株式会社吉本建 代表取締役 吉本義則	941130~ 950131
南方遺跡	岡山市岩町4番118	721	新社屋建設	広成建設株式会社岡山支店 取締役支店長 廣原一成	941121~ 950731
集 落 跡	岡山市岩町西郷521-1外	2099	住宅建設	株式会社ヒノミツ 代表取締役 濱野レイ子	950315~ 951130
散 布 地	岡山市岩町西郷521-1外	2099	住宅建設	岡山市赤田132 松本千年前	950401~ 950731
閲 聞 遺 跡	岡山市赤田109-1	628	住宅建設	岡山市赤田246 松本千年前	950401~ 950731
集 落 跡	岡山市清水445-1	1106	住宅建設	岡山市野田五丁目8番地8号 岡山ネットワーク株式会社 代表取締役社長 花房清人	95041中旬~ 9506下旬
散 布 地	岡山市南方五丁目1~6番地内	252	有線テレビジョン施設設置	岡山市野田五丁目8番地8号 岡山ネットワーク株式会社 代表取締役社長 花房清人	95041中旬~ 9506下旬

遺跡発見の届出・通知（第57条の5・6）

遺跡の種類	所在 地	発見年月日	発見の事情	発見者	出土 遺物
散 布 地 弥生~奈良	岡山市国府市場721-2 *722-5・722-6	940304	土木工事中	社会福祉法人有隣会 理事長 高山千子	弥生土器・土器片
旧岡山城二の丸跡侍屋敷	岡山市内山下二丁目28-109	940320	土木工事中	岡山市吉松三丁目4番7号 小川隆敏	なし
散 布 地	山市目黒・糸井地内	940510	土木工事中	三益興業株式会社代表取締役東田忠男 主計課大蔵業務課会員代表取締役大塚洋文	弥生土器・須恵器 土器片若干
散 布 地 弥生~古墳	岡山市新庄上宇山横下545-1ほか	941202	試掘調査	社会福祉法人鰐淵会 理事長 吉田義三	土器片若干
散 布 地 古 墓	岡山市北方2丁目573-3ほか	940608	試掘調査	岡山市学南町二丁目6-7 尾島貞女	土 器 片
散 布 地 平安~中世	岡山市高島一丁目5番7号	940831	土木工事中	岡山市長 安宅敬祐	土器部若干
集 落 跡 古 墓	岡山市岩町4番118	941021	試掘調査	広成建設株式会社岡山支店 取締役支店長 廣原一成	なし

国指定史跡の現状変更許可申請（法第80条）

種類および名称	所在 地	面積 m ²	目 的	主 体 者	期 間
史 跡	岡山市丸の内二丁目3番901	68本	杭打ち等	岡山市長 安宅敬祐	940711~ 940812
岡 山 城 敗	岡山市いづみ町2番1号	150本	杭打ち等	岡山サマーカーニバル実行委員会 会長 山路昭平	940718~ 940727
史 跡	津島渡跡	84.2m ²	板設物設置	山陽放送株式会社 常務取締役営業局長 野間孝彦	940901~ 940903
史 跡	岡山城跡	84.2m ²	板設物設置	山陽放送株式会社 常務取締役営業局長 野間孝彦	940901~ 940903
史 跡	岡山城跡	1500m ²	発掘調査	岡山市長 安宅敬祐	941006~ 950331
史 跡	岡山城跡	133本	杭打ち等	岡山市長 安宅敬祐	941015~ 941114
史 跡	岡山城跡	9.0m ²	防災用機器設置等	岡山市長 安宅敬祐	941209~ 950325
史 跡	岡山古墳				

このほか、届出・通知が市教育委員会を経由していないが、市内でおこなわれた発掘調査として以下の遺跡がある。詳細は、「岡山県埋蔵文化財報告25」（岡山県教育委員会、1995年）に紹介されている。

- ・中溝遺跡（都市計画道路万成国富線建設に伴う発掘調査）
- ・青谷5号墳（吉備新線建設に伴う発掘調査）
- ・上伊福西遺跡（岡山工業高校実習棟改築に伴う発掘調査）
- ・田益遺跡（姫川瀬川調整池建設に伴う確認調査）
- ・沢田・米田遺跡（旭川放水路（百間川）改修に伴う発掘調査）
- ・橋原古墳群（国道バイパス建設に伴う発掘調査）
- ・原尾島遺跡（国道2号線原尾島拡幅に伴う発掘調査）
- ・絵図遺跡・南方遺跡（国道53号キャブシステム建設に伴う発掘調査）
- ・横山古墳群（国道53号（岡山北バイパス）建設に伴う発掘調査）
- ・田益遺跡（国立岡山病院建設に伴う発掘調査）

III. 普及・啓発事業と刊行物

岡山市教育委員会は、文化財保護強調週間にあわせて埋蔵文化財展を開催している。また、発掘調査の進捗状況に応じて現地説明会も開催している。普及・啓発事業の一環である。なかでも報告書・普及書の刊行は、文化財係の主要で大切な仕事の一つである。しかし、この分野で立ち後れているのが当市の実状である。

94年度の実施は以下の通り。この頁の余白が埋まるように努力していきたい。

埋蔵文化財速報展

1994年11月1日～11月8日 岡山市立中央図書館

過去1年間に調査を実施した遺跡を紹介した。本年度は調査の概要掲載の遺跡を、解説板・写真パネル・出土物等を用いて紹介した。特に南方遺跡出土の木器のうち、保存処理を終え展示可能となったものを中心に展示を構成した。

例年は、市庁舎1階の市民ホールで開催している。今年は庁舎の改修工事で使用できず、中央図書館を会場として開催するに至った。

現地説明会開催状況

- 目黒上山遺跡 1994年7月24日（日）
暑い盛り、地元の方々を中心に100名ほどが参集。
- 岡山城跡本丸中の段遺跡 1995年2月25日（土）
岡山市のシンボル的存在の城だけに市民の関心は高く、300名ほどが参加。熱心に説明に聞き入っていた。
- 南方（済生会）遺跡 1995年3月5日（日）
出土した多くの木器を前に、遺跡の説明をする。150名ほどが参加。

刊 行 物

- 「足守藩武家屋敷跡－足守小学校給食棟、体育館建築事業
に伴う発掘調査報告－」
- 岡山市遺跡地図（五万分の1）



南方（済生会）遺跡 現況風景I



南方（済生会）遺跡 現況風景II

IV. 受領図書一覧

県名	発行者	書名	発行年月日
岩手 (03)	盛岡市教育委員会	繫遺跡	860331
	盛岡市教育委員会	盛岡市埋蔵文化財調査年報	870331
	盛岡市教育委員会	盛岡市埋蔵文化財調査年報	890331
	盛岡市教育委員会	志波城跡	930331
	盛岡市教育委員会	大館遺跡群(大館町遺跡)	930331
福島 (07)	いわき市教育委員会	上ノ台遺跡	870331
	日本道路公団・いわき市教育文化事業団	いわき市教育文化事業団年報4	940310
	いわき市教育文化事業団	いわき市教育文化事業団年報4	940325
	いわき市教育委員会	淹尻城跡A	940325
茨城 (08)	那珂湊市教育委員会	反射炉シンボジウム記録集	9403
栃木 (09)	佐野市教育委員会	若宮遺跡	920331
	佐野市教育委員会	馬門南遺跡・馬門愛宕塚古墳	920331
	佐野市教育委員会	摘田遺跡・宮西遺跡	920331
	佐野地区広域消防組合	向原遺跡	940331
	佐野市教育委員会	高崎城遺跡Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	9003
群馬 (10)	高崎市教育委員会	下大類蟹沢遺跡	930331
	高崎市教育委員会	高閑村前遺跡	9312
	高崎市教育委員会	東町田遺跡	9403
	高崎市教育委員会	高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書	9403
	高崎市教育委員会	史跡 日高遺跡	9403
	高崎市教育委員会	高崎城三ノ丸遺跡	940331
	高崎市教育委員会	埋もれた古代の高崎展 弥生をたずねて	940319
	高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会	上中居西屋敷遺跡	940325
	高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会	岩鼻坂上北遺跡、八幡原灰窯II遺跡	9403
	高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会	飯家新田西・雁田遺跡、高崎市内水田遺跡一覧	9403
	高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会	矢島町薬師遺跡	940331
	高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会	上佐野船橋遺跡	9203
	高崎市遺跡調査会	道場遺跡群付図	
	高崎市遺跡調査会・高崎市教育委員会	倉賀野万福寺II遺跡発掘調査報告	9403
	日本国有鉄道清算事業団	芳賀西部畠地遺跡	910331
	前橋市教育委員会	前橋市埋蔵文化財調査地一覧表	930831
	前橋市教育委員会	文化財調査報告書 第23集	931220
	前橋市教育委員会	市内遺跡発掘調査報告書	940330
	前橋市教育委員会	内堀遺跡群Ⅳ	940331
	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	中並木遺跡	940127
	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	中原遺跡群	940228
	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	元總社明神遺跡Ⅱ	940320
	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	油田栗田遺跡	940325
	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	大屋敷遺跡Ⅱ	940325

県名	発行者	書名	発行年月日
埼 玉 (11)	浦和市遺跡調査会	木村遺跡発掘調査報告書(第Ⅶ地点)	930325
	浦和市遺跡調査会	芝原遺跡発掘調査報告書	940325
	浦和市遺跡調査会	山久保遺跡発掘調査報告書(第3次)	940325
	浦和市遺跡調査会	根岸遺跡発掘調査報告書	940325
	浦和市遺跡調査会	原山東原遺跡・原山北原遺跡・本太三丁目遺跡・不動谷遺跡	940325
	浦和市遺跡調査会	下大久保新田遺跡発掘調査報告書	940325
	浦和市遺跡調査会	会ノ谷遺跡発掘調査報告書	940325
	浦和市遺跡調査会	本太5丁目遺跡・宮本遺跡	940331
	浦和市遺跡調査会	上ノ宮遺跡発掘調査報告書	941005
	浦和市遺跡調査会	浦の遺跡	950210
	浦和市遺跡調査会	大久保領家片町遺跡発掘調査報告書(第1地点)	930325
	浦和市遺跡調査会	明花東遺跡発掘調査報告書	940325
	浦和市遺跡調査会・浦和市教育委員会	松木遺跡	940325
	浦和市教育委員会	指定文化財総目録	940630
	浦和市教育委員会	浦和市文化財年報3	940630
	浦和市教育委員会	不動谷遺跡発掘調査報告書	941222
千 葉 (12)	葛市原市文化財センター	市原市山田橋亥の海道貝塚	920326
	日本石油株式会社		
	葛市原市文化財センター	市原市安須古墳群	930331
	泉水建材株式会社		
	葛市原市文化財センター	市原市柿崎東原遺跡B地点	930831
	大和建設株式会社		
	葛市原市文化財センター	市原市文化財センター年報	940331
	葛市原市文化財センター	市原市文化財センター年報	940930
	市川市	下総国分寺跡 平成元年～平成5年度発掘調査報告	940320
	國立歴史民俗博物館	日本出土の貿易陶器 東日本編1	940330
	國立歴史民俗博物館	日本出土の貿易陶器 東日本編2	940330
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究報告 第56集	940331
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究報告 第57集	940331
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究報告 第58集	941222
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究報告 第59集	941222
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究年報 2	941225
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究年報 第61集	950120
	國立歴史民俗博物館	國立歴史民俗博物館研究報告 第62集	950120
	千葉市教育委員会	埋蔵文化財調査(市内遺跡)報告書	940331
	千葉市立加曾利貝塚博物館	学史を飾る貝塚	940125
	千葉市立加曾利貝塚博物館	貝塚博物館紀要第21号	940331
	船橋市郷土資料館	なつかしい蒸気機関車	930702
	船橋市郷土資料館	江戸時代の船橋周辺	940120
	船橋市郷土資料館	八木ヶ谷の文化財	940201
	船橋市郷土資料館	庚申塔1	940331
	船橋市郷土資料館	船橋市郷土資料館年報	940430
	松戸市教育委員会	平成5年度 松戸市内遺跡発掘調査概報	940331
	松戸市教育委員会	陣ヶ前遺跡	940430
東 京 (13)	荒木町遺跡調査団	荒木町遺跡発掘調査報告書	940331
	國學院大學考古学資料館	國學院大學考古学資料館紀要	
	宮内庁書院部陵墓課	平成4年度 陵墓関係調査概要歩傍陵墓参考地石室内現況調査報告	9403
	新日本製鐵株式会社		
	紀尾伊町6-18遺跡調査会	尾張麹町邸跡	940831

県名	発行者	書名	発行年月日
千代田区立郷土資料館	千代田区教育委員会	一番町遺跡発掘調査報告書	940331
	東京大学文学部考古学研究室	東京大学文学部考古学研究室研究紀要 第12号	940325
	豊島区立郷土資料館	生活と文化	940330
	豊島区立郷土資料館	豊島区立郷土資料館収蔵資料目録 第7集	940630
	豊島区立郷土資料館	町工場の履歴書	940609
	豊島区立郷土資料館	豊島区立郷土資料館年報	940914
神奈川県 (14)	小田原市教育委員会	荻窪北根遺跡発掘調査報告書	931120
	小田原市教育委員会	殿座遺跡	940315
	小田原市教育委員会	小田原城下 慶千橋町遺跡II	940331
	小田原市教育委員会	小田原城下 慶千橋町遺跡III	940331
	小田原市教育委員会	天神山台遺跡	940331
	小田原市教育委員会	小田原城下 法雲寺遺跡	940331
	小田原市教育委員会	住吉橋復原工事報告書	9403
新潟 (15)	三条市教育委員会	駿ノ瀬・菖蒲沢遺跡	940331
富山 (16)	富山県教育委員会	北陸自動車道遺跡調査報告一朝日町編6-1	910331
	富山県埋蔵文化財センター	南中田遺跡発掘調査報告書	910330
	富山県埋蔵文化財センター	石太郎G遺跡・石太郎J遺跡	910331
	富山県埋蔵文化財センター	石太郎I遺跡・石太郎J遺跡	920331
	富山県埋蔵文化財センター	古沢バイパス関連遺跡発掘調査報告	920331
	富山県埋蔵文化財センター	小杉波通業務用地内遺跡群	9403
	富山県埋蔵文化財センター	富山県埋蔵文化財センター年報	940331
	富山県埋蔵文化財センター	吉倉B遺跡	9403
	富山県文化振興財団	梅原胡摩空遺跡発掘調査報告(遺構編)	940325
	富山県文化振興財団	埋蔵文化財年報(5)	940331
	富山市教育委員会・富山市埋蔵文化財調査委員会	富山市三郷中山塚跡発掘調査概要	940330
石川 (17)	金沢大学文学部考古学講座	金沢大学考古学紀要 第21号	940510
福井 (18)	一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡	930331
	一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要1992	930331
	一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡 1993	940331
	一乗谷朝倉氏遺跡資料館	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要1993	940331
	勝山市	よみがえる平泉寺	940812
長野 (20)	松本市教育委員会	松本市出川南遺跡IV・平田里古墳群	940322
	松本市教育委員会	松本市宮の上遺跡II 厚畠遺跡	940322
	松本市教育委員会	松本市平田木郷遺跡	940322
	松本市教育委員会	松本市トウコン原遺跡II	940322
岐阜 (21)	可児市教育委員会	川合遺跡群	9403
	可児市教育委員会	久々利西山横穴墓	940331
	可児市教育委員会	下切香ヶ洞古窯	940331
	可児市教育委員会	矢戸上野2・3号窯	940331
静岡 (22)	袋井市教育委員会	袋井市戸ヶ谷第1号墳の調査	7801
	袋井市教育委員会	袋井市長者平遺跡	810331
	袋井市教育委員会	鶴松古墳群・横谷古墳群	820331
	袋井市教育委員会	鶴松遺跡III	83
	袋井市教育委員会	大門遺跡	83
	袋井市教育委員会	宇刈の横穴	850331
	袋井市教育委員会	坂尻遺跡	860329
		昭和60年度国庫補助事業発掘調査報告書	860331

県名	発行者	書名	発行年月日
	袋井市教育委員会	長者平遺跡	87
	袋井市教育委員会	愛野向山A-2・3・4号墳	87
	袋井市教育委員会	鶴松遺跡II	8702
	袋井市教育委員会	愛野向山A-8号墳・愛野向山墳墓群・愛野向山II遺跡	88
	袋井市教育委員会	大門遺跡	880331
	袋井市教育委員会	袋井市原川城跡・坂尻遺跡	8903
	袋井市教育委員会	衛門坂古窯跡	890227
	袋井市教育委員会	坂尻遺跡	890330
	袋井市教育委員会	権現山遺跡	90
	袋井市教育委員会	大門遺跡V	90
	袋井市教育委員会	坂尻道下遺跡	900330
	袋井市教育委員会	原川城の場・坂尻遺跡	900330
	袋井市教育委員会	掘越ジアウヤマ遺跡発掘調査報告書	91
	袋井市教育委員会	久野城跡	91
	袋井市教育委員会	さかじり遺跡	910330
	袋井市教育委員会	坂尻遺跡	91
	袋井市教育委員会	袋井市鶴田II遺跡	910331
	袋井市教育委員会	袋井市三沢古墳群	910331
	袋井市教育委員会	坂尻遺跡	910331
	袋井市教育委員会	山田原遺跡群I	940325
	袋井市教育委員会	狸子塚九号墳出土遺物保存処理報告書	940325
	袋井市教育委員会	石ノ形古墳	940325
	袋井市教育委員会	山田申渡遺跡 I・II	9403
	袋井市教育委員会	袋井宿I 東(田代)本陣	940325
	袋井市教育委員会	長者平遺跡II	9403
	袋井市教育委員会	川田・蘿蔭洞遺跡II	940329
	三島市教育委員会	三島市埋蔵文化財発掘調査報告II	930330
	三島市教育委員会	三島市文化財年報 第5号	931105
	三島市教育委員会	金沢遺跡	940330
	三島市教育委員会	史跡山中城跡	940330
愛知 (23)	一宮市博物館	一宮市博物館年報	94031
	豊瀬戸市埋蔵文化財センター	下半田川C窯跡I	940325
	豊瀬戸市埋蔵文化財センター	東海中の世墓	941103
	高藏遺跡(花町地区) 調査会	高藏遺跡(花町地区) 発掘調査報告書	930331
	豊田市郷土資料館	豊田資料叢書	940731
	豊田市郷土資料館	特別展 夢 富くじ 宝くじ	941116
	豊田市教育委員会	穂谷清市氏寄贈考古資料図録	941130
	豊田市教育委員会	豊田資料叢書	941130
	豊橋市教育委員会	橋良遺跡	941031
	豊橋市教育委員会	波入江遺跡	941225
	豊橋市教育委員会	吉田城址(1)	94031
	名古屋市教育委員会	名古屋市文化財調査報告25 鳴海地区須恵器窯跡調査報告書	94031
	名古屋市教育委員会	名古屋市文化財調査報告27 N N330号窯発掘調査報告書	940331
	名古屋市教育委員会	名古屋市山車調査報告書1 筒井町湯取車	940331
	名古屋市教育委員会	なごやの街並(二)	940331
	名古屋市教育委員会	東古渡町遺跡	940331
	名古屋市教育委員会	高藏遺跡	940331
	名古屋市教育委員会	名古屋城三の丸遺跡 遺構編	940331
	名古屋市教育委員会	名古屋城三の丸遺跡 遺物編	940331

県名	発行者	書名	発行年月日
	名古屋市教育委員会	志賀公園遺跡発掘調査の概要	940331
	名古屋市教育委員会	伊勢山中学校遺跡	940331
	名古屋市教育委員会	尾張元興寺跡発掘調査報告	940801
	名古屋市見晴台考古資料館	見晴台遺跡	930331
	名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館 年報10	930720
	名古屋市見晴台考古資料館	見晴台遺跡第31次発掘調査の記録	930731
	名古屋市見晴台考古資料館	名古屋の羅文時代 解説書	931130
	名古屋市見晴台考古資料館	名古屋の羅文時代 資料集	931130
	名古屋市見晴台考古資料館	見晴台教室 93	940131
	名古屋市見晴台考古資料館	旧紫川遺跡	940131
	名古屋市見晴台考古資料館	見晴台遺跡ガイドブック	940331
	名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館 年報11	940720
	名古屋大学文学部考古学研究室	名古屋大学文学部研究論集 119	9403
	名古屋大学文学部考古学研究室	考古資料ソフテックス写真集 第9集	940315
三重 (24)	上野市教育委員会	史跡旧櫛堂院存鑑歎事業第1期保存修理工事報告書	6403
	上野市遺跡調査会・上野市教育委員会	堂垣内遺跡発掘調査報告書	9403
	上野市遺跡調査会・上野市教育委員会	国史跡旧櫛堂院発掘調査報告	9403
	鶴鹿市教育委員会	天白遺跡範囲確認調査報告	94
	鶴鹿市教育委員会	中ノ川流域の考古学	930815
	鶴鹿市教育委員会	伊勢国分寺・国府跡	940331
	鶴鹿市教育委員会	西ノ野遺跡発掘調査報告書	940614
	鶴鹿市遺跡調査会・鶴鹿市教育委員会	北ノ添遺跡発掘調査報告書	940331
	津市教育委員会	古代揚子江の宝室	941001
	津市教育委員会	上津部田城址(第3次)発掘調査報告書	9403
滋賀 (25)	大津市教育委員会	滋賀里遺跡発掘調査報告書	940322
	大津市教育委員会	大谷遺跡発掘調査報告書	940331
	近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書XIX	880331
	近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書XXI	900331
	近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書XXII	9012
	近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書XXIII	920331
	近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書XXV	930331
	近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書XXVI	940331
	草津市教育委員会	文化財年報 1992年度	9403
	草津市教育委員会	下ノ笠堂跡・馬場・上笠遺跡発掘調査報告書	940331
	滋賀県安土城郭調査研究所	要覧	9303
	滋賀県安土城郭調査研究所	滋賀県安土城郭調査研究所年報	9403
	滋賀県安土城郭調査研究所	研究紀要 第2号	9403
	滋賀県教育委員会	特別史跡 安土城跡	9203
	滋賀県教育委員会	特別史跡安土城跡発掘調査報告2	9203
京都 (26)	大山崎町教育委員会	大山崎町の癡亂	930331
	大山崎町教育委員会	長岡京跡右京第402次発掘調査概報	940331
	觀京都市埋蔵文化財研究所	京都市埋蔵文化財調査概要	930331
	觀京都市埋蔵文化財研究所	岩倉櫛枝2号墳	931201
	觀京都市埋蔵文化財研究所	京都市埋蔵文化財調査概要	940910
	觀京都市埋蔵文化財研究所	京都市埋蔵文化財調査概要	941210
	觀京都市埋蔵文化財研究所	研究紀要 第1号	950113
	觀京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第51号	940325
	觀京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第52号	940627
	觀京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第53号	940926

県名	発行者	書名	発行年月日
	観京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第54号	941226
	長岡京市教育委員会	長岡京市文化財調査報告書	940331
	観長岡京市埋蔵文化財センター	長岡京市埋蔵文化財センター年報	940322
	観向日市埋蔵文化財センター・向日市教育委員会	向日市埋蔵文化財調査報告書 第38集	940331
大阪 (27)	観大阪府埋蔵文化財協会・大阪府教育委員会	池田寺遺跡Ⅳ	911130
	観大阪府埋蔵文化財協会・大阪府教育委員会	野々井遺跡	940331
	観大阪府埋蔵文化財協会・大阪府教育委員会	野々井西遺跡・ON231号窯跡	940531
	観大阪府埋蔵文化財協会	芝ノ垣外遺跡II発掘調査報告	9306
	観大阪府埋蔵文化財協会	上フジ遺跡III・三田古墳	931224
	観大阪府埋蔵文化財協会	下田遺跡発掘調査	940305
	観大阪府埋蔵文化財協会	三ヶ山西遺跡	940331
	観大阪府埋蔵文化財協会	男里遺跡	940331
	観大阪府埋蔵文化財協会	研究紀要2	940331
	観大阪府埋蔵文化財協会	泉州の遺跡展	940903
	観大阪文化財センター	図録 農耕の技術とまつり	921212
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要II	910331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要III	910331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要IV	910331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要V	910331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要VI	920331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要VII	920331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要VIII	920331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要IX	920331
	観大阪文化財センター	池島・福万寺造跡発掘調査概要X	920331
	観大阪文化財センター	図録 大阪城跡の調査2	92
	観大阪文化財センター	図録 大阪城跡の調査3	93
	観大阪文化財センター	瓜生堂遺跡発掘調査報告	940331
	観大阪文化財センター	新家（その5）	930331
	観大阪文化財センター	大阪城跡の発掘調査3	930630
	観大阪文化財センター	巨摩・若江北（その3）発掘調査概要	930331
	観大阪文化財センター	研究紀要	9303
大阪府立弥生文化博物館	観大阪文化財センター	原始・古代のコメ作り	921212
	観大阪文化財センター	大阪文化財研究	921127
	観大阪文化財センター	大阪文化財研究	920828
	観大阪文化財センター	大阪文化財研究	920213
	観大阪文化財センター	大阪文化財研究	930801
	観大阪文化財センター	大阪文化財研究	9402
	観大阪文化財センター	小坂遺跡	920331
	観大阪文化財センター	上町台地の遺跡	911225
	観大阪文化財センター	大阪城下町後I	940301
	観大阪文化財センター	長原・瓜破遺跡発掘調査報告V	920331
	大阪府立弥生文化博物館	サンゴ礁をわたる碧の風	941001
	大阪府立弥生文化博物館	弥生から古墳へ	940213
	大阪府立弥生文化博物館	富士山を望む弥生の国々	940416
	大阪府立弥生文化博物館	海の道、陸の道	941030
観東大阪市文化財協会	東大阪市下水道事業関係発掘調査概要報告	940331	
	若江遺跡第44次発掘調査報告	930330	
	西ノ辻遺跡第55次発掘調査報告	9309	
	西ノ辻遺跡第36次発掘調査報告	9402	
	神並遺跡XIII	920331	
	西之辻遺跡第23次発掘調査報告	920331	

県名	発行者	書名	発行年月日
	豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財年報Vol.1	930331
	豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財年報Vol.2	940331
	豊中市教育委員会	とよなか文化財ブックレットNo.2 織文の狩人	940331
	豊中市教育委員会	とよなか文化財ブックレットNo.3 たがやす人びと	940331
	豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 1993年度	9403
	河内長野市遺跡調査会	三日市遺跡発掘調査報告書III	9403
	河内長野市遺跡調査会	天野山金剛寺遺跡	9403
	河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書X	9403
	河内長野市教育委員会	大本山天野山金剛寺桜門・持因天・増長天像保存修理報告書	9405
	堺市教育委員会	堺市文化財調査概要報告 第42冊	940228
	泉南市教育委員会	泉南市遺跡発掘調査報告書X	9303
	泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書XI	9403
	泉南市教育委員会・泉南市	日本古代国家の成立を探る	931114
	高槻市教育委員会	岬上遺跡群18	940331
	高槻市教育委員会	高槻市文化財年報 平成4年度	940331
	羽曳野市教育委員会	古市遺跡群X V	940331
	豊能市文化財研究調査会	枚方市文化財年報13	940331
	豊能市文化財研究調査会	財団法人枚方市文化財研究調査会研究紀要	9412
	枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要	930331
	枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要	940331
	藤井寺市教育委員会	土師の里8号墳	940331
	藤井寺市教育委員会	倭の五王の時代	941126
	八尾市教育委員会	八尾市内遺跡平成5年度発掘調査報告書I	9403
	八尾市教育委員会	八尾市内遺跡平成5年度発掘調査報告書II	9403
兵庫 (28)	兵庫県教育委員会	製鋼遺跡 I	940331
	龍野市教育委員会	播磨国鶴莊現況調査報告V	930331
	龍野市教育委員会	布勢駅家II	940326
	龍野市教育委員会	長尾塔後遺跡	940331
	西播磨開発株式会社・龍野市教育委員会	龍野市寄井遺跡	940901
	中町教育委員会	鍛冶屋・下川遺跡	940331
	中町教育委員会	円満寺遺跡	940331
	姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報	940330
	姫路市立城郭研究室	日女道かぐみ	940331
	姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報	941228
	三田市教育委員会	すまいの道具	940331
	三田市教育委員会	百石羅り	940731
	三田市郷土文化研究会	三田史談 第14号	940430
	三田市郷土文化研究会	三田の鳥居	940331
	妙見山麓遺跡調査会	加古川流域の古代史	890815
	妙見山麓遺跡調査会	市原・熊野神社裏遺跡	901225
	妙見山麓遺跡調査会	兵庫塩業史の研究I	940909
	安富町教育委員会	塩野六角古墳	940331
	六甲山麓調査会	芦妻遺跡 第2次調査	940331
	赤穂市教育委員会	赤穂の民俗	941031
	赤穂市教育委員会	赤穂塩業史料第6巻	940225
	赤穂市教育委員会	赤穂塩業史料第7巻	940225
	尼崎市教育委員会	平成3年度 尼崎市埋蔵文化財年報	940331
	一宮町教育委員会	家原遺跡	940331
	加古川市教育委員会	加古川市遺跡分布地区第2版	940331

県名	発行者	書名	発行年月日
	加西市教育委員会	小谷遺跡	93
	加西市教育委員会	野間遺跡	9303
	加西市教育委員会	小谷遺跡発掘調査報告書	9402
	加西市教育委員会	山枝・なめら・別府中町遺跡	9403
	加東郡教育委員会	埋蔵文化財調査年報 1991年度	940331
	加美町教育委員会	加美町遺跡地図	940331
	神戸市教育委員会	神戸市垂水・日向遺跡	9203
	神戸市教育委員会	大開遺跡発掘調査報告書	930331
	神戸市教育委員会	古代人と動物	9308
	神戸市教育委員会	平成4年度遺跡現地説明会資料	9403
	神戸市教育委員会	高塚山古墳群	9403
	神戸市教育委員会	出合遺跡	940331
	神戸市教育委員会	昭和63年度 神戸市埋蔵文化財年報	9403
	神戸市教育委員会	平成3年度 神戸市埋蔵文化財年報	9403
	新宮町教育委員会	堅壙遺跡	930331
	新宮町教育委員会	栗柄里	940325
	新宮町教育委員会	新宮町古文書目録 第八集	940330
奈良 (29)	櫛原考古学研究所	奈良県遺跡調査概報 1988年度 第一分冊	890331
	櫛原考古学研究所	奈良県遺跡調査概報 1988年度 第二分冊	890331
	櫛原考古学研究所	奈良県遺跡調査概報 1989年度 第二分冊	900331
	櫛原考古学研究所・三郷町教育委員会	生駒郡三郷町所在遺跡	92
	櫛原考古学研究所	櫛原遺跡を掘る	930331
	櫛原考古学研究所	タイムスリップはしお	930331
	櫛原考古学研究所	櫛原考古学研究所年報18	930331
	櫛原考古学研究所	考古學論叢	930331
	櫛原考古学研究所	櫛原考古学研究所紀要考古學論叢	940331
	櫛原考古学研究所	櫛原考古学研究所年報 19	940331
	河合町教育委員会	高山2号墳・中良塚古墳・宮堂遺跡	940331
	櫛原市千桜資料館	かしはらの歴史をさぐる2	940426
	櫛原市教育委員会	櫛原市埋蔵文化財発掘調査概報	940331
	広陵町教育委員会	ふるさと街道整備事業地内	930331
	広陵町教育委員会	平尾金池遺跡	930331
	広陵町教育委員会	寺戸鳥掛跡発掘調査概報	930331
	広陵町教育委員会	黒石東2号墳・3号墳発掘調査概要報告書	930331
	田原本町教育委員会	磨古・健遺跡	930331
	天理大学考古学研究室	奈良盆地の古環境と農耕	940331
	天理大学考古学研究室	高原と湖の遺跡	940331
	奈良県教育委員会	平城京 左京三条一坊七坪	930331
	奈良県教育委員会	西隆寺発掘調査報告書	930330
	奈良国立文化財研究所	奈良国立文化財研究所年報	940331
	奈良国立文化財研究所	奈良国立文化財研究所年報	941031
	奈良國立文化財研究所	飛鳥・藤原宮跡発掘調査概報 24	940520
	奈良市教育委員会	奈良市埋蔵文化財調査センター紀要1993	940331
	奈良市教育委員会	平城京東市跡推定地の調査Ⅲ	940331
	奈良市教育委員会	奈良市埋蔵文化財調査概要報告書	940331
	奈良大学文学部文化財学科	文化財學報 第11集	930330
	大和高田市教育委員会	コンビラ山古墳	9304
	由良大和古代文化研究協会	研究紀要 第二集	
	由良大和古代文化研究協会	舞谷古墳群の研究	

県名	発行者	書名	発行年月日
和歌山 (30)	和歌山市教育委員会	木の本旧遺跡 第3次発掘調査報告書	920331
	和歌山市教育委員会	奉篤之古址古墳	930331
	和歌山市文化体育振興事業団	史跡和歌山城第12次発掘調査概要報告書	940228
	和歌山市文化体育振興事業団	鳴神V遺跡発掘調査長要報告書	940331
	和歌山市文化体育振興事業団	奉篤之古址占墳範囲確認調査報告書	940331
	和歌山市文化体育振興事業団	平尾遺跡発掘調査概報	941115
鳥取 (31)	鳥取市教育福祉振興会	美和古墳群発掘調査報告書	9402
	鳥取市教育福祉振興会	菖蒲遺跡	940331
	鳥取市教育福祉振興会	紙子谷古墳群・宮長竹ヶ鼻遺跡	940331
	鳥取市教育福祉振興会	秋里遺跡発掘調査概要報告書	9403
	鳥取市教育福祉振興会	八坂118号墳発掘調査報告書	940331
	鳥取市教育福祉振興会	六郎山古墳群	940331
	淀江町教育委員会	百塚第1遺跡	8911
	淀江町教育委員会	今津岸の上遺跡発掘調査報告書	9103
	淀江町教育委員会	大下畠遺跡・小波原畠遺跡発掘調査報告書	9103
	淀江町教育委員会	今津岸の上遺跡発掘調査報告書II	9203
	淀江町教育委員会	小波原畠遺跡発掘調査報告書	9203
	淀江町教育委員会	北尾宮廻遺跡発掘調査報告書	9203
	淀江町教育委員会	淀江町内遺跡発掘調査報告書IV	9303
	淀江町教育委員会	福岡谷ノ上遺跡発掘調査報告書	9310
	淀江町教育委員会	百塚遺跡群III	931228
島根 (32)	鹿島町教育委員会	佐太前遺跡	8703
	鹿島町教育委員会	佐太講武貝塚発掘調査報告書	9103
	鹿島町教育委員会	佐太南地区遺跡試掘調査報告書	9403
	鹿島町教育委員会	佐太講武貝塚発掘調査報告書2	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	釜代1号墳外苑發掘調査報告書I	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	論田4号墳発掘調査報告書	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	音沢谷横穴群	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	敷居谷古墳群発掘調査報告書1	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	柴尾遺跡発掘調査報告書(1)	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	角森遺跡発掘調査報告書	9403
	豊松江市教育文化振興事業団・松江市教育委員会	向遺跡発掘調査報告書	9403
	安来市教育委員会	清水山古墳群発掘調査報告書	9403
	安来市教育委員会	鉄からの知的冒險	940331
	久世町教育委員会	久世町の石造文化財	940331
岡山 (33)	倉敷市	倉敷の歴史	940325
	倉敷市立自然史博物館	倉敷市立自然史博物館報 5	940331
	倉敷市立自然史博物館	倉敷のいきもの	940410
	山陽学園大学	山陽論叢	941226
	就実女子大学吉備地方文化研究所	吉備地方文化研究	640330
	重要文化財備中國分寺五重塔修理委員会	重要文化財 備中國分寺五重塔保存修理工事報告書	9403
	総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報3	9403
	総社市教育委員会	総社市埋蔵文化財調査年報4	9411
	津山郷土博物館	浅本鶴山の陶芸	931002
	津山郷土博物館	津山松平藩町奉行日記 三	940331
	津山市教育委員会	大開古墳群・大開遺跡	930331
	津山市教育委員会	美作国跡	940331
	津山市教育委員会	翠山北遺跡	940331
	津山市土地開発公社・津山市教育委員会	井口車塚古墳	940331

県名	発行者	書名	発行年月日
津市土地開拓公社・津山市教育委員会	別所谷遺跡	940331	
津山先生の里文化財センター	年報 津山先生の里 第1号	940331	
津山洋学資料館	洋学研究誌 一滴 第2号	9407	
ノートルダム清心女子大学	ノートルダム清心女子大学紀要 国語・国文学編	950301	
ノートルダム清心女子大学	ノートルダム清心女子大学紀要 生活芸術・児童学編	950301	
ノートルダム清心女子大学	ノートルダム清心女子大学紀要 文化学編	950301	
ノートルダム清心女子大学	ノートルダム清心女子大学紀要 外国語・外国文学編	950301	
岡山県教育委員会	牛恋往来・吹屋往来	9403	
岡山県教育委員会	松山往来・新見往来	9403	
岡山県教育委員会	大山道	9403	
岡山県教育委員会	岡山県社寺所有資料調査報告書4	940331	
岡山県教育委員会	中井・南三反田遺跡	940331	
岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財報告24	940331	
岡山県教育委員会	山陽自動車道建設に伴う発掘調査8	940331	
岡山県教育委員会	山陽自動車道建設に伴う発掘調査9	940331	
岡山県教育委員会	大田茶屋遺跡1	941130	
岡山県教育委員会	土師東遺跡 福里遺跡	941130	
岡山県教育委員会	大年古墳群ほか	950331	
建設省岡山河川工事事務所・岡山県教育委員会	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告8 百間川原尾島遺跡3	940320	
日本道路公団広島建設局津山工事事務所	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告91	940331	
・岡山県教育委員会	中国横断自動車道建設に伴う発掘調査 1		
岡山県郷土文化財団	旧犬養家住宅修復工事報告書	921001	
岡山県立博物館	研究報告15	9403	
観光岡山市町村振興協会	岡山県文化財鑑定	9501	
岡山市オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館研究紀要 1993		
岡山市立中央図書館占文書を読む会	古文書のすゝめ	941101	
岡山市	西部地区土地区画整理事業誌	9412	
岡大埋文調査研究センター	津島岡大遺跡 4 第5次調査	940331	
長船町史編纂委員会	長船町 史・資料目録	9503	
加茂川町教育委員会	加茂川町の大みち	941201	
廣島 (34)	観光広島市歴史科学教育事業団・広島市教育委員会	古路・古道調査報告	9203
	観光広島市歴史科学教育事業団	今市城跡発掘調査報告	9303
	観光広島市歴史科学教育事業団	大陸の風とともに	931102
	観光広島市歴史科学教育事業団	平成5年度第1回考古学教室 感想文集	940131
	観光広島市歴史科学教育事業団	牛田早稻田遺跡発掘調査報告	9402
	観光広島市歴史科学教育事業団	平尾遺跡発掘調査報告	9403
	観光広島市歴史科学教育事業団	下沖2号遺跡発掘調査報告	9403
	観光広島市歴史科学教育事業団	広島城廬原前地点発掘調査報告	9403
	観光広島市歴史科学教育事業団	平成5年度第2回考古学教室 古代食づくり	941031
	観光広島市歴史科学教育事業団	有井城跡発掘調査報告	
	観光広島市歴史科学教育事業団	新交通システム整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(2)	
	観光広島市歴史科学教育事業団	第17回文化財展 -はにわハニワ埴輪-	
	福山市教育委員会	市原遺跡発掘調査報告	940731
	庄原市教育委員会	照清1・2号遺跡	9303
	庄原市教育委員会	農村基盤総合パック事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	9403
	東城町教育委員会	川東大仙山古墳群	9403
	広島県草戸千軒町遺跡調査研究所	草戸千軒町遺跡発掘調査報告II	940330
	東広島市教育委員会	西条第一土地地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書II	9303
	東広島市教育委員会	原1号遺跡発掘調査報告書	9403

県名	発行者	書名	発行年月
東広島市教育委員会	史跡三ツ城古墳整備事業報告書	9403	
広島県立みよし風土記の丘	年報 第15号 平成5(1993)年度	940630	
広島県立歴史民俗資料館	古墳と大陸文化	940922	
広島県立歴史民俗資料館	東広島ニュータウン遺跡群II	9303	
観広島県埋文調査センター	東広島ニュータウン遺跡群III	9303	
観広島県埋文調査センター	東広島ニュータウン遺跡群IV	9303	
観広島県埋文調査センター	西条第一土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(II)	9303	
観広島県埋文調査センター	年報Ⅱ	9312	
観広島県埋文調査センター	研究報告Ⅳ	9403	
観広島県埋文調査センター	山崎遺跡	940331	
観広島県埋文調査センター	竜王堂遺跡	9403	
観広島県埋文調査センター	大歳遺跡	9403	
観広島県埋文調査センター	岡山A地点遺跡	9403	
観広島県埋文調査センター	明官地東遺跡	9403	
観広島県埋文調査センター	山陽自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(III)	9403	
観広島県埋文調査センター	金壳・陣開	9403	
観広島県埋文調査センター	日向遺跡	940331	
観広島県埋文調査センター	宮風呂遺跡	9403	
観広島県埋文調査センター	入野中山遺跡	940331	
観広島県埋文調査センター	川東大山山第10・11号古墳	9403	
観広島県埋文調査センター	東広島ニュータウン遺跡群V	9403	
山口 (35)	下関市教育委員会	大判遺跡 墓生口遺跡	9403
	美東町教育委員会	長登御山跡I	900330
	美東町教育委員会	長登御山跡II	931130
	山口市教育委員会	下東遺跡II	920330
	山口市教育委員会	上幕川遺跡	9303
	山口市教育委員会	山口市内遺跡詳細分布調査 大内地区	9403
徳島 (36)	徳島市教育委員会	徳島市埋蔵文化財発掘調査綱要4	940331
	鳴門市教育委員会	鳴門市埋蔵文化財調査報告書	941220
	鳴門市埋蔵文化財発掘調査会・株式会社ホリバプロジェクト		
愛媛 (38)	愛媛大学法文学部考古学研究室	江口貝塚II	940331
	大西町教育委員会	妙見山古墳概報集成	9410
	松山市教育委員会	古照遺跡 第7次調査	640331
	観松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター		
	松山市教育委員会	東山古墳群	940331
	観松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター		
	松山市教育委員会	上野遺跡	940331
	観松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター		
	松山市教育委員会	大峰ヶ台丘陵の遺跡	940331
	観松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター		
	松山市教育委員会	北久米浄蓮寺遺跡	940615
	観松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター		
	松山市教育委員会	薬院の遺跡	940601
	観松山市生涯学習振興財团埋蔵文化財センター		
福岡 (40)	春日市教育委員会	石井幼稚園遺跡・南中学校構内遺跡	940831
	春日市教育委員会	春日市埋蔵文化財年報I	930331
	春日市教育委員会	須玖五反田遺跡	940331

県名	発行者	書名	発行年月日
豊北九州市教育文化事業団		上清水遺跡 I 区	930331
豊北九州市教育文化事業団		蓋蓋遺跡	931231
豊北九州市教育文化事業団		埋蔵文化財調査室年報10	940331
豊北九州市教育文化事業団		研究紀要 第 8 号	940331
豊北九州市教育文化事業団		京町遺跡 2	940331
豊北九州市教育文化事業団		京町遺跡 3	940331
豊北九州市教育文化事業団		京町遺跡 4	940331
豊北九州市教育文化事業団		京町遺跡 5	940331
豊北九州市教育文化事業団		貴川遺跡 8	940331
豊北九州市教育文化事業団		寺内遺跡	940331
豊北九州市教育文化事業団		浜田遺跡・脇ノ浦遺跡	940331
豊北九州市教育文化事業団		石田・原遺跡第 5 地点	940331
豊北九州市教育文化事業団		森山遺跡	940331
豊北九州市教育文化事業団		中畠遺跡第 3 地点	940331
豊北九州市教育文化事業団		山崎八ヶ戸墳墓群	940331
豊北九州市教育文化事業団		棚町遺跡 1	940331
豊北九州市教育文化事業団		米町遺跡	940331
豊北九州市教育文化事業団		菅生遺跡	940430
豊北九州市教育文化事業団		小山城跡 1	940430
北九州市立考古博物館		北九州市立考古博物館年報	940601
北九州市立考古博物館		研究紀要	9406
北九州市立考古博物館		九州の貝塚—貝塚が語る闘文人の生活	940719
九州大学春日原地区埋蔵文化財調査室		九州大学埋蔵文化財調査報告 筑紫地区遺跡群	9403
九州大学文学部九州文化史研究施設		九州文化史研究所紀要	9403
九州歴史資料館		九州歴史資料館年報	940801
太宰府教育委員会		水城跡（みずきあと）	94
太宰府教育委員会		水城跡	940325
太宰府教育委員会		太宰府条坊跡 VI	940325
太宰府教育委員会		高雄地区遺跡群	940331
津屋崎教育委員会		在自家跡群 I	940331
筑紫野市教育委員会		トドキ遺跡	900331
筑紫野市教育委員会		大牟田西遺跡 II	930331
筑紫野市教育委員会		山家遺跡	930331
筑紫野市教育委員会		以来尺遺跡 II	940331
筑紫野市教育委員会		野黒坂遺跡 II	940331
筑紫野市教育委員会		大牟田条坊跡	940331
筑紫野市教育委員会		太宰府条坊跡	940331
筑紫野市教育委員会		脇田遺跡 III	940331
豊津町教育委員会		甲塙方墳	940331
福岡市教育委員会		鹿田青木遺跡 1	931030
福岡市教育委員会		東入部遺跡群 1	940331
福岡市教育委員会		博多 41	940331
福岡市教育委員会		坂倉 F 遺跡 1	940331
福岡市教育委員会		比恵遺跡群 (14)	940331
福岡市教育委員会		坂氏遺跡群 2	940331
福岡市教育委員会		山崎古墳群—第 2 次調査—	940331
福岡市教育委員会		中村町遺跡 1	940331
福岡市教育委員会		席田遺跡群 7	940331
福岡市教育委員会		今宿遺跡	940331

県名	発行者	書名	発行年月日
	福岡市教育委員会	吉塚本町遺跡	940331
	福岡市教育委員会	那珂10	940331
	福岡市教育委員会	福岡市埋蔵文化財年報 1992年度	940331
	福岡市教育委員会	奈多砂丘遺跡!	940331
	福岡市教育委員会	東入部遺跡群2	940331
	福岡市教育委員会	板付馬辺遺跡調査報告書 16	940331
	福岡市教育委員会	筑原遺跡 I	940331
	福岡市教育委員会	麦野B遺跡II	940331
	福岡市教育委員会	東入部遺跡群3	940331
	福岡市教育委員会	田村遺跡X	940331
	福岡市教育委員会	那珂 11	940331
	福岡市教育委員会	有田・小田部 第20集	940331
	福岡市教育委員会	田村遺跡IV	940331
	福岡市教育委員会	那珂遺跡 9	940315
	福岡市教育委員会	鷹崎遺跡 1	940331
	福岡市教育委員会	五十川赤目遺跡	940331
	福岡市教育委員会	駒山VI	940331
	福岡市教育委員会	蓮崎遺跡 9	940331
	福岡市教育委員会	中南部(3)	940331
	福岡市教育委員会	飯倉唐木遺跡	940331
	福岡市教育委員会	有田・小田部 第19集	940331
	福岡市教育委員会	西新町遺跡 3	940331
佐賀 (41)	佐賀県立九州陶磁文化館	伊万里市大川原1号窯跡	940331
	佐賀市教育委員会	大野原遺跡	940331
	佐賀市教育委員会	友貞遺跡	940331
	佐賀市教育委員会	浦田遺跡	940331
	佐賀市教育委員会	大西屋敷遺跡 I	940331
	佐賀市教育委員会	増田遺跡群 II	940331
	佐賀市教育委員会	千住遺跡・半田寺遺跡	940331
	佐賀市教育委員会	御手水遺跡	940331
熊本 (43)	熊本県立裴徽古墳館	はにわの考古学	941103
	熊本市教育委員会	大江遺跡群 II	93
	熊本市教育委員会	池辺寺跡	93
	熊本市教育委員会	つつじヶ丘横穴群	9403
	熊本市教育委員会	熊本市の文化財	940331
大分 (44)	大分県教育委員会	上ノ原横穴墓群 I	9003
	大分県教育委員会	上ノ原横穴墓群 II	9003
	大分県教育委員会	上ノ原横穴墓群写真図版編	9003
	大分県教育委員会	上野第1遺跡・上野第2遺跡・手崎遺跡	940331
	大分県教育委員会	大分県埋蔵文化財年報 2	940331
沖縄 (47)	具志川市教育委員会	具志川市の文化財 第1集	910208
	具志川市教育委員会	具志川市の文化財 第2集	920306
	具志川市教育委員会	具志川市の文化財 第3集	930331
韓国	国立光州博物館	先・原史人の道具と技術	941020
個人	山崎信二	平城宮・京と同窓の軒瓦および平城宮式軒瓦に関する基礎的考察	9403

編者ひとこと

報告書を出しましょうよ。報告書を出せる体制にしましょうよ。
ある調査員の切実な声である。

またある調査員は言う。毎年概報を出して成果を公にするのが、
報告書を刊行していない岡山市としての最低の義務である、と。
調査員たちと周辺の声に応えるかたちで、今回の概要は作成され
ました。定期刊行にむけ努力を続けます。

独りよがりでなく、わかりやすい、親しみのもてるものにして
きたいと思います。

忌憚ないご意見をお待ちしています。

岡山市埋蔵文化財調査の概要

— 1994年度 —

発行年 1996年3月31日

発 行 岡山市教育委員会

岡山市大供一丁目1-1

編 集 社会教育部文化課

印 刷 昭和印刷